府中市新総合体育館基本構想

令和８年１月

府　　中　　市

目　次

第１章　基本構想の背景と目的 1
　１　背景 1
　２　目的 1
　３　位置付け 2
第２章　現状と課題 3
　１　現総合体育館の現況 3
　２　関連施設の現況 5
　３　上位計画及び関連計画 8
　４　市民ニーズ調査 15
　５　ワークショップ 29
　６　オープンハウス 33
　７　新総合体育館の必要性や求められる役割 37
　８　府中らしさ 39
第３章　事業予定地 40
　１　事業予定地の概要 40
　２　事業予定地の整備条件 43
第４章　基本理念・基本方針 44
　１　基本理念 44
　２　基本方針 44
第５章　機能・規模・配置等 45
　１　前提条件の把握 45
　２　施設機能 46
　３　施設規模 53
　４　施設配置 57
第６章　事業手法 59
　１　事業手法の抽出 59
　２　事業手法の特性比較 65
　３　事業費確保の方針 66
第７章　管理運営方法 67
　１　管理・運営の基本的な考え方 67
第８章　事業スケジュール 68
　１　事業スケジュール 68
　２　今後の検討事項 69
資料編 71

第１章　基本構想の背景と目的

１　背景

国は平成２３年にスポーツ基本法を制定し、平成２７年にスポーツ庁を設置するなど、スポーツを通じた健康で文化的な社会の実現を推進しています。こうした国の方針を踏まえ、本市では、第２次府中市スポーツ推進計画において、基本理念である「スポーツタウン府中の発展」に向けて、「市民が主体的に参画する地域スポーツ活動の普及・促進」、「多様な主体を対象としたスポーツ活動機会の充実」、「スポーツの場の整備・充実」、「未来につながるスポーツ文化の形成」の４つを基本目標に掲げ、施策を推進しています。

また、全国的に公共施設の更新時期が到来し、財政負担や人口減少への対応が求められる中、本市では、府中市公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等を市民共有の財産として、良好な状態で、過度な負担を残すことなく、次世代に引き継ぐことを目指し、施策を進めています。

郷土の森公園内に位置している市立総合体育館（以下「現総合体育館」といいます。）は、第一体育室棟が昭和４６年にしゅん工してから５０年以上が経過しており、建物の老朽化が進行しています。

現総合体育館は、多くの市民に利用される施設であり、耐用年数も近付いてきていることから、本市は、令和２年２月に策定した府中基地跡地留保地利用計画において、現総合体育館を府中基地跡地留保地（以下「留保地」といいます。）に移転する方向性を示し、令和４年３月に策定した第７次府中市総合計画（前期基本計画）において、総合体育館移転関連事業を、重点プロジェクトに対応する主要な取組の一つに位置付けました。さらに、令和４年３月に策定した第２次府中市スポーツ推進計画においても、「総合体育館の移転（建て替え）の検討」を重点項目に掲げ、トップチームの観戦・応援環境の整備のほか、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、新たな市民ニーズなどに応じて必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めることとしました。

これらを踏まえ、本市では、令和７年２月に新総合体育館基本構想検討協議会を設置し、令和７年度までに府中市新総合体育館基本構想（以下「基本構想」といいます。）の作成を進めることとしました。

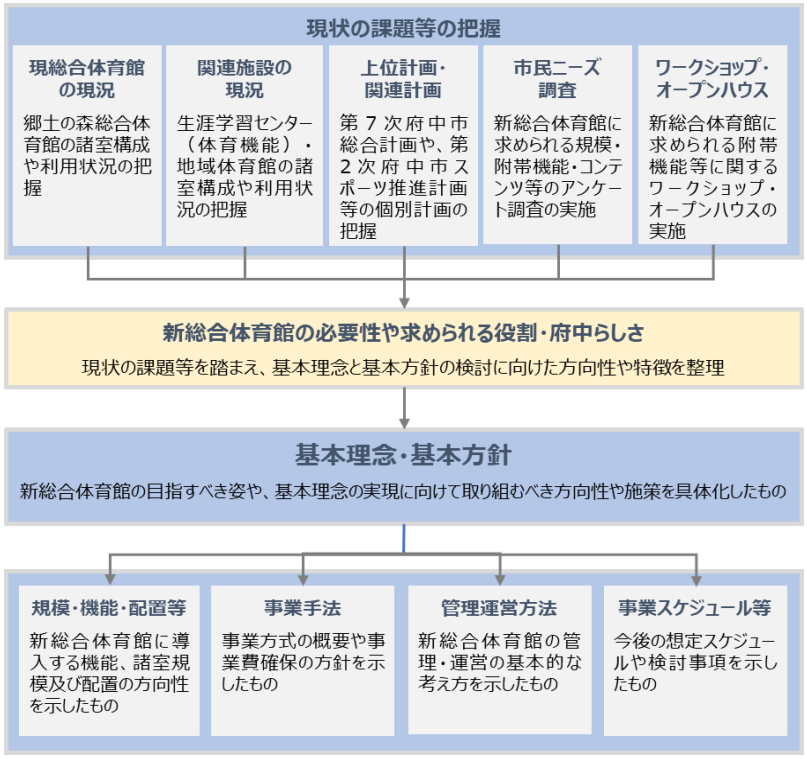
２　目的

基本構想では、新総合体育館の整備に向けて基本理念と基本方針を示します。

これらを検討するに当たり、上位・関連計画、市民ニーズ調査、現総合体育館及び関連施設の利用状況等を整理し、現状の課題を把握します。その上で、新総合体育館の必要性や求められる役割を分析し、目指すべき姿を基本理念として具体化します。さらに、その理念を実現するための取組を基本方針として示します。

なお、今後は、基本構想に基づき、施設の規模や機能を具体化した基本計画を策定し、設計・施工の各段階を経て事業を推進していきます。

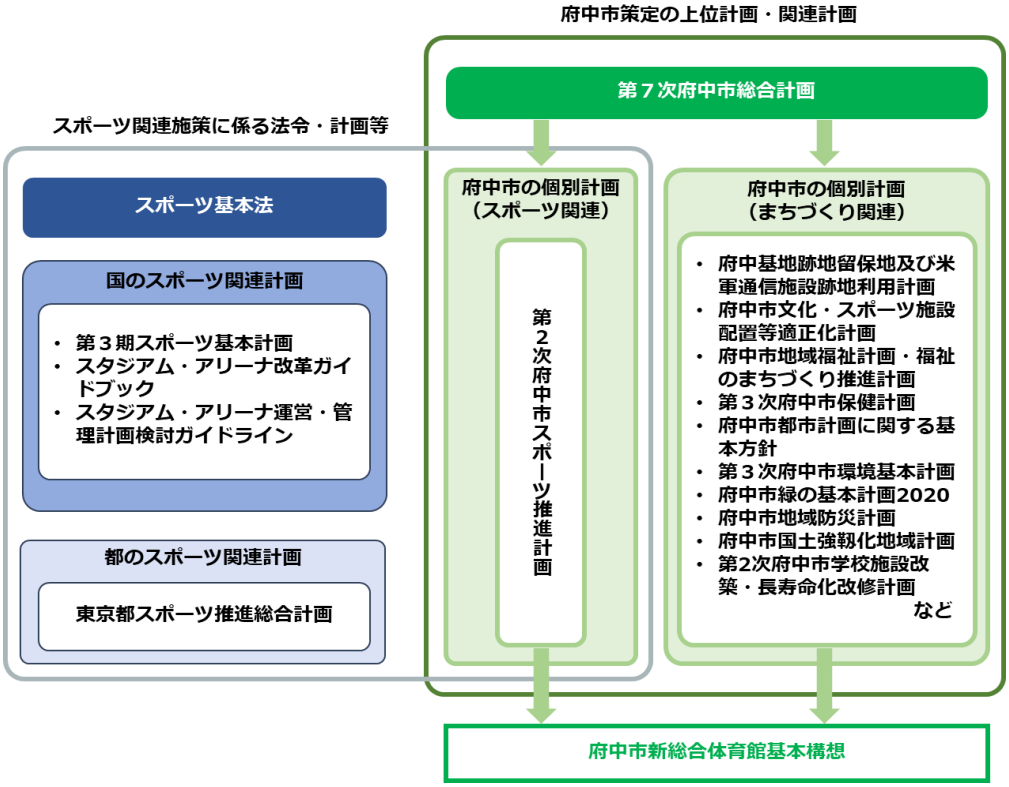
【図表１　検討の全体像】



３　位置付け

基本構想は、市の最上位計画である第７次府中市総合計画や第２次府中市スポーツ推進計画等に基づき、国及び東京都のスポーツ関連計画、本市の関連計画を踏まえて策定します。

【図表２　体系図】



第２章　現状と課題

１　現総合体育館の現況

⑴　概要

【図表３　現総合体育館の概要】

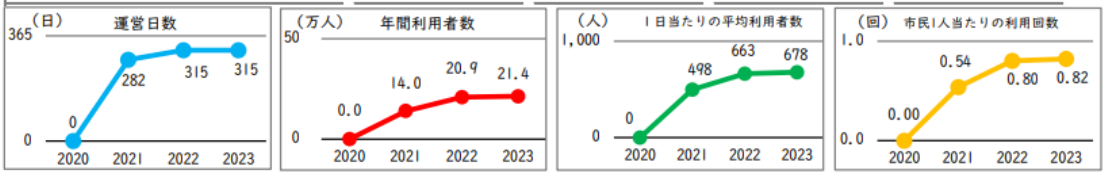
所　在　地	府中市矢崎町５丁目５番地
しゅん工年度	昭和４６年度（第一体育室棟） 昭和６３年度（第二体育室棟）
構　造	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造）
敷地面積	６３，４３１．３５㎡
建築面積	７，１３７．８８㎡
延床面積	１３，２２８．４６㎡
主な諸室	【地下１階】第１体育室、第２体育室、相撲場、卓球室、エアーライフル場、幼児体育室、ミーティングルーム、トレーニング室 【１階】レクリエーションホール、第１会議室・研修室、医務室 【２階】第１武道場、第２武道場、弓道場、第２会議室
管理・運営	直営

⑵　利用状況

年間利用者数は増加傾向にあり、令和４年度以降は２０万人を超えています。なお、令和５年度の１日当たりの平均利用者数は、６７８人です。

【図表４　現総合体育館の運営・利用状況（令和２年度～令和５年度）】

運営・利用状況	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
運営日数※	0	282	315	315
年間利用者数	0	140,381	208,932	213,693
１日当たりの平均利用者数	0	498	663	678
市民1人当たりの利用回数	0.00	0.54	0.80	0.82



※　令和元年度の台風被害により、令和２年度は休館していたため、運営日数や利用者数が０となっている。

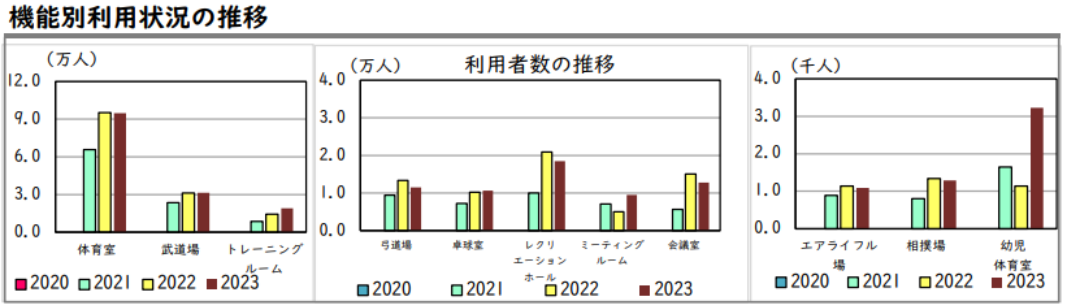
出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

機能別では、体育室の利用が最多で、令和５年度の年間利用者数は合計９万人を超えており、団体利用率は６割程度となっています。次いで、武道場、トレーニングルーム、レクリエーションホールの順で利用者が多くなっています。

また、団体利用率は体育室、武道場、レクリエーションホールの順で高く、一般公開時の利用者数は、トレーニングルーム、体育室、卓球室の順で多くなっています。エアー

ライフル場、相撲場、ミーティングルームの団体利用率は３パーセント未満で、一般公開時の利用者数も８００人未満となっています。

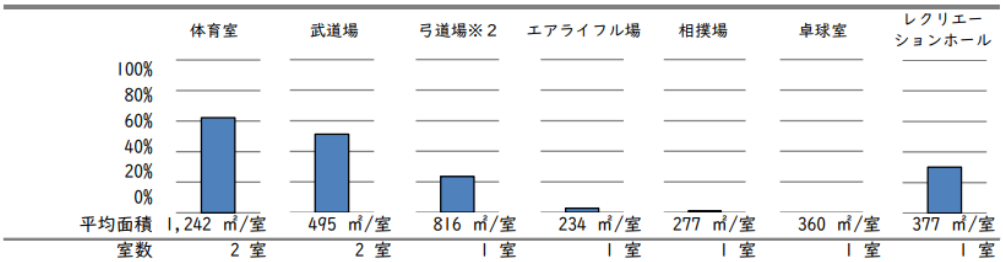
【図表５　現総合体育館の機能別利用状況の推移（令和２～５年度）】



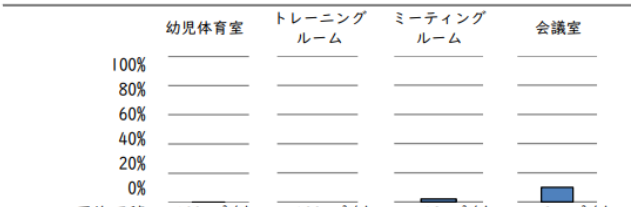
出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

【図表６　現総合体育館の機能別利用状況（令和５年度）】

令和５年度（２０２３年度）機能別利用状況



	体育室	武道場	弓道場※２	エアライフル場	相撲場	卓球室	レクリエーションホール
平均面積	1,242 ㎡/室	495 ㎡/室	816 ㎡/室	234 ㎡/室	277 ㎡/室	360 ㎡/室	377 ㎡/室
室数	2 室	2 室	1 室	1 室	1 室	1 室	1 室
利用者数合計	94,786 人	31,377 人	11,487 人	1,091 人	1,287 人	10,653 人	18,454 人
団体利用コマ数	1,568 コマ	1,291 コマ	295 コマ	18 コマ	13 コマ	0 コマ	380 コマ
利用可能コマ数	2,520 コマ	2,520 コマ	1,260 コマ	648 コマ	1,260 コマ	1,260 コマ	1,260 コマ
団体利用率	62.2%	51.2%	23.4%	2.8%	1.0%	0.0%	30.2%
自主事業の利用者数	2,613 人	190 人	0 人	0 人	35 人	0 人	8,741 人
一般公開時の利用者数	12,414 人	2,452 人	2,719 人	777 人	790 人	10,653 人	513 人



	幼児体育室	トレーニングルーム	ミーティングルーム	会議室
平均面積	100 ㎡/室	400 ㎡/室	48 ㎡/室	85 ㎡/室
室数	1 室	1 室	1 室	2 室
利用者数合計	3,229 人	19,082 人	9,499 人	12,748 人
団体利用コマ数	0 コマ	0 コマ	77 時間	252 コマ
利用可能コマ数	3,780 コマ	945 コマ	3,780 時間	2,520 コマ
団体利用率	0.1%	0.0%	2.0%	10.0%
自主事業の利用者数	15 人	0 人	0 人	0 人
一般公開時の利用者数	2,534 人	19,082 人	0 人	0 人

出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

２　関連施設の現況

⑴　生涯学習センター

ア　概要

【図表７　生涯学習センターの概要】

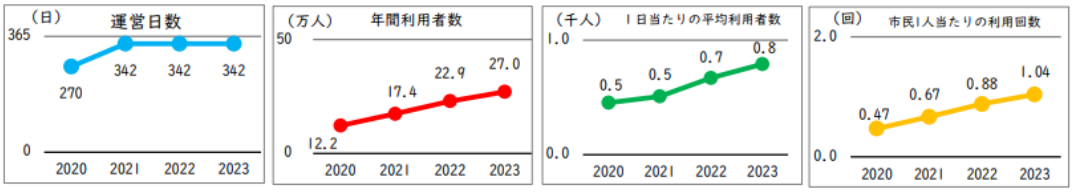
所　在　地	府中市浅間町１丁目７番地
しゅん工年度	平成４年度
主 な 諸 室	【体育機能】体育室、トレーニング室、フィットネス・ラボ、温水プール、ミーティング室 ※その他、学習機能、宿泊機能、レストラン等
管 理 ・ 運 営	指定管理者

イ　利用状況

年間利用者数は増加傾向にあり、令和５年度は約２７万人に達し、市民一人当たりの利用回数は１回を超えています。なお、令和５年度の１日当たりの平均利用者数は、約８００人です。

【図表８　生涯学習センターの運営・利用状況（令和２年度～令和５年度）】

運営・利用状況	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
運営日数※	270	342	342	342
年間利用者数	122,479	174,052	229,194	270,432
１日当たりの平均利用者数	454	509	670	791
市民1人当たりの利用回数	0.47	0.67	0.88	1.04



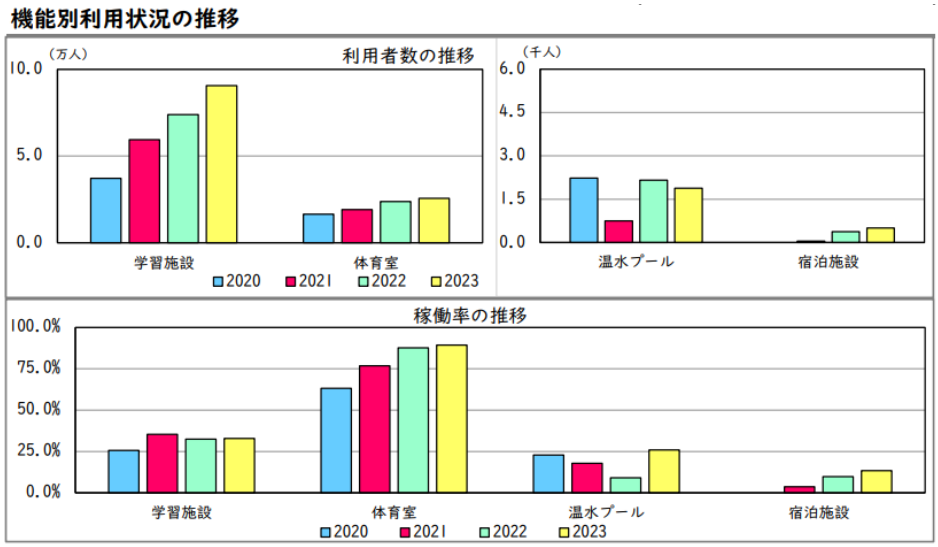
※　令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止による休館日あり。

出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

機能別（体育機能）では、体育室の稼働率が最も高く、９０パーセント近くに達しています。

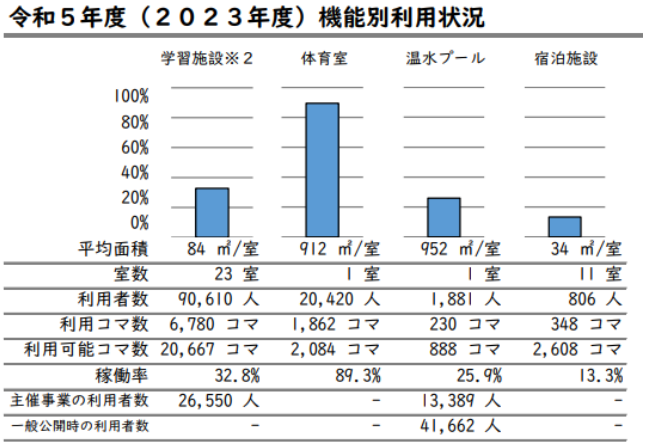
また、一般公開時の利用者数は、温水プール及びトレーニング室が４万人を超えており、フィットネス・ラボも２万人を超えています。

【図表９　生涯学習センターの機能別利用状況の推移（令和２年度～５年度）】



出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

【図表１０　生涯学習センターの機能別利用状況（令和５年度）】



	学習施設※２	体育室	温水プール	宿泊施設
平均面積	84 ㎡/室	912 ㎡/室	952 ㎡/室	34 ㎡/室
室数	23 室	1 室	1 室	11 室
利用者数	90,610 人	20,420 人	1,881 人	806 人
利用コマ数	6,780 コマ	1,862 コマ	230 コマ	348 コマ
利用可能コマ数	20,667 コマ	2,084 コマ	888 コマ	2,608 コマ
稼働率	32.8%	89.3%	25.9%	13.3%
主催事業の利用者数	26,550 人	-	13,389 人	-
一般公開時の利用者数	-	-	41,662 人	-

【利用者数】
フィットネスラボ　22,879 人
トレーニング室　47,397 人

出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

⑵　地域体育館

ア　概要

【図表１１　地域体育館の概要】

名　称	所在地	しゅん工年度	主な諸室	管理・運営
栄町体育館	府中市栄町１丁目１番地	昭和５８年度	体育室 クラブ室 会議室	委託
四谷体育館	府中市四谷５丁目６番地	昭和６０年度		
白糸台体育館	府中市白糸台１丁目５０番地	昭和６０年度		
押立体育館	府中市押立町１丁目３７番地	昭和６１年度		
本宿体育館	府中市本宿町４丁目２３番地	昭和６２年度		
東京競馬場 日吉体育館	府中市八幡町３丁目８番地	―	体育室 会議室	―

イ　利用状況

地域体育館の稼働率は、地域によってばらつきがありますが、いずれの体育館においても、総合体育館や生涯学習センターの体育室の稼働率より低くなっています。この主な要因として、各地域体育館では運営協議会を設置し、団体貸切枠と一般公開枠の調整を行っていることが挙げられます。

【図表１２　地域体育館の年間利用者数及び稼働率の推移（令和２年度～令和５年度)】

名　称	内　容	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
栄町体育館	利用者数	１９，６９０人	２３，４５８人	３０，６９８人	３２，４１７人
	稼働率	３５．２％	３５．８％	３５．４％	３１．５％
四谷体育館	利用者数	１８，７６８人	１９，９１３人	２９，１６９人	２０，０５９人
	稼働率	４５．４％	３７．２％	４８．４％	５６．５％
白糸台体育館	利用者数	２５，２６７人	２８，０３９人	２６，８８２人	４１，１６３人
	稼働率	５９．０％	５４．６％	５７．９％	３４．０％
押立体育館	利用者数	２６，１０６人	２８，５３８人	３９，４３９人	２７，８５１人
	稼働率	５６．９％	５３．２％	５９．６％	５２．３％
本宿体育館	利用者数	４６，３００人	２６，４９２人	２９，０２０人	３８，９０６人
	稼働率	５７．６％	５７．６％	５６．８％	４８．９％
日吉体育館	利用者数	９，７４１人	１１，５８５人	１９，７３６人	２２，６３６人
	稼働率	２６．５％	２６．５％	２３．６％	６６．０％

出典：公共施設カルテ詳細版（令和５年度版）

３　上位計画及び関連計画

⑴　第７次府中市総合計画前期基本計画

第７次府中市総合計画は、「きずなを紡ぎ 未来を拓く 心ゆたかに暮らせるまち 府中」を都市像に掲げ、将来の長期的展望の下に、市政のあらゆる分野を対象とした、総合的かつ計画的なまちづくりの指針を示したものです。前期基本計画の計画期間は令和４年度から令和７年度までの４年間で、総合体育館移転関連事業を、重点プロジェクトに対応する主要な取組の一つとして位置付けています。

基本目標３　多様性を認め合い 人と文化が磨かれるまち

府中市の現状・課題

本市に拠点を置くトップチームを始めとして、多様なスポーツ団体が活動しており、市民もスポーツに親しんでいます。今後も、市民がスポーツを身近に感じ、健康で元気に過ごせるよう、その機会の提供と環境の整備が求められています。また、ラグビーワールドカップ２０１９等のレガシーの活用やトップチームやアスリートの活躍を身近に観戦できる機会の確保が望まれています。

重点プロジェクト（第２期府中市まち・ひと・しごと創生総合戦略）

プロジェクト３　活気に満ちた交流が盛んなまちづくり

目標２　活力を生み出す拠点の形成

取組② 府中基地跡地留保地周辺地区まちづくり

方針　府中基地跡地留保地周辺地区では、利用計画に基づく留保地の土地利用の誘導を図るとともに、新たな魅力としてのイノベーションを創出することで、市全体の活性化につながる将来を見据えた、にぎわいと活力を生み出すためのまちづくりに向けた検討を進めます。また、地区内に建設予定の新しい総合体育館については、ニーズ調査や分析を行い、その役割や機能を明確にしていきます。

出典：第７次府中市総合計画前期基本計画

⑵　第２次府中市スポーツ推進計画

第２次府中市スポーツ推進計画は、スポーツの社会的役割の増大や市民ニーズの変化を踏まえ、スポーツに関わる新たな市民ニーズに応えるため、また、より具体的にスポーツタウン府中の発展を目指すために策定したものです。なお、計画期間は令和４年度から令和１１年度までの８年間です。

また、本計画では、重点項目の一つとして「総合体育館の移転（建て替え）の検討」を位置付けており、市民の新たなスポーツニーズに応える拠点施設の整備に向けた検討を進めています。

基本目標３　スポーツの場の整備・充実

総合体育館の移転（建て替え）の検討【★重点】

（中略）

現在の総合体育館に代わる新たなスポーツ拠点として、今後の移転（建て替え）に当たっては、従来の機能であった市民が「する」スポーツ利用に加え、「みる」視点として、市の特長・資源であるトップチームの観戦・応援環境の整備を行います。また、災害時に必要な機能なども考慮しつつ、移転（建て替え）に向けて、新たな市民ニーズなどに応じて、必要な機能の整理や規模、施設の運営手法などの検討を進めます。

出典：第２次府中市スポーツ推進計画

⑶　府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（令和７年５月一部変更）

府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画は、令和元年度に策定した府中市基地跡地留保地利用計画を基に、令和７年度に米軍通信施設跡地の土地利用も加えた形で一部を見直し、両跡地を一体的に活用する方針を示したものです。

３　留保地及び米軍通信施設跡地の利用の考え方

⑶　土地利用の考え方

国有地である留保地及び米軍通信施設跡地に加えて、本市の既存施設である平和の森公園及び生涯学習センターの敷地を一体的に整備し、全体を公園として利用することで、多様なライフスタイルや都市活動のニーズに対応する本市の新たな憩いとにぎわいの拠点となることを目指します。

公園内には総合体育館を、留保地、平和の森公園敷地及び生涯学習センター敷地にまたがるように整備し、附属機能として多目的グラウンドを設置するなど、機能を充実させることで「スポーツタウン府中」のブランド力向上を目指します。

また、周辺の大規模公園等との緑の連続性を確保することで、連携して一体的な緑地空間を創出するとともに、周辺地域の住環境や、新たに設定する自然環境を保全する区域への配慮、近年頻発している自然災害への対応など、様々な状況に対応していきます。

出典：府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画

⑷　府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画

府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画（以下「適正化計画」といいます。）は、施設の老朽化による更新や維持管理コストの増大、市民ニーズの変化への対応などの多様化する課題やニーズを踏まえ、施設の配置や機能等の適正化を図ることを目的として策定したものです。なお、計画期間は、令和６年度から令和３４年度までの２９年間です。

また、現総合体育館の移転・建て替えは、重点施策の一つに位置付けています。

第５章 施設ごとの取組

５ 地区図書館

【具体的な取組内容】

観点	取組内容
機能・空間	・ 生涯学習センター図書館は、総合体育館との複合化に向け、市民から求められている「静かな空間・話すことができる空間」など、新たな機能・空間を検討します。

１０ 総合体育館（郷土の森総合体育館）

【方向性】

新たな市民ニーズへの対応のほか、老朽化対策や防災面などの機能強化を図るため、府中基地跡地留保地周辺エリアに移転し、生涯学習センターの体育機能を統合します。

【具体的な取組内容】

観点	取組内容
配置	・ 府中基地跡地留保地周辺エリアに移転し、生涯学習センターの体育機能を統合します。 ・ 総合体育館は府中基地跡地留保地、平和の森公園及び生涯学習センター跡地にまたがるように整備します。
量	・ 移転に向け、稼働率の低い相撲場やエアーライフル場の規模等の見直しを検討するなど、規模の適正化を図ります。 ・ 移転に向け、新たな機能として、市内トップチームの試合を当該施設で観戦できるよう観客席数などの規模を検討します。 ・ 収容人数に見合う観覧者の滞留場所やイベントスペースの確保を図ります。
機能・空間	・ 相撲場及びエアーライフル場は、稼働率が低い傾向があることから、多機能化等を検討し、施設の有効活用を図ります。 ・ 移転に向け、市内でも民間事業者で多く提供しているトレーニング室の在り方を検討します。 ・ 総合的な市民スポーツの拠点となるよう多目的グラウンドを配置し、周辺部との一体的な整備や機能連携を検討します。
運営	・ ＰＦＩや指定管理者制度などの民間活力の導入を検討します。 ・ 移転に向け、施設を市内外からの利用を想定した広域的施設に位置付けたことから、ネーミングライツやクラウドファンディングなどを導入し、新たな収入の確保を検討します。

出典：府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画

⑸　府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画

府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画は、ソフト・ハード両面から地域福祉及び福祉のまちづくりを推進するために策定したものです。なお、計画期間は、令和３年度から令和８年度までの６年間です。

基本目標３　生き生きと健康に暮らすための環境づくり

いつまでも生き生きと健康に暮らせるよう、市民が主体的に健康づくりや介護予防等に取り組むことができる環境づくりを推進します。

基本目標４　福祉のまちづくりの推進

年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人が利用できる生活環境その他の環境を作り上げるユニバーサルデザインの理念に基づき、高齢者や障害のある人を含めた全ての人が、安全で、安心して、かつ、快適に暮らし、又は訪れることができるまちを目指し、福祉のまちづくりを推進します。

出典：府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画

⑹　第３次府中市保健計画

第３次府中市保健計画は、第２次保健計画に基づいて実施してきた取組の評価、健康を取り巻く国や東京都の政策動向や社会情勢の変化を踏まえ、市民の健康寿命の更なる延伸を図るため策定したものです。なお、計画期間は、令和３年度から令和８年度までの６年間です。

基本方針（２）　ライフステージの特性に応じた健康的な生活習慣を実践する

健康づくりは生涯を通して行うことが大切ですが、ライフステージによって、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、飲酒、喫煙、歯・口腔等の課題が異なります。そのため、自分のライフステージにおける健康課題を正しく理解し、健康的な生活習慣を実践することが重要です。市では、第３次保健計画と第３次食育推進計画を一体的に策定することに伴い、ライフステージを、乳幼児期（０～６歳）、学齢期（７～１７歳）、若年期 （１８～３９歳）、中年期（４０～６４ 歳）、高齢期（６５歳以上）の５つの段階に分けました。これらのライフステージの特性を踏まえて、生涯にわたり切れ目のない健康づくりに向けた取組の推進を図ります。

出典：第３次府中市保健計画

⑺　府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）

府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）は、都市計画法第１８条の２の規定に基づく市町村の都市計画に関する基本的な方針として、東京都の都市づくりのグランドデザイン及び都市計画区域の整備、開発及び保全の方針並びに府中市総合計画といった上位計画に即して策定したものであり、本市の都市整備の方向性を示す基本計画として位置付けているものです。なお、計画期間は、令和３年度から令和２３年度までの２１年間です。

第３地域（北部）

３　まちづくり方針

（１）にぎわいと活力のあるまちづくり

・府中基地跡地留保地の土地利用による、にぎわい活力の創出

○ 府中基地跡地留保地は、「府中基地跡地留保地利用計画」に基づき、「緑豊かなまち」、「スポーツタウン」、「文化・芸術のまち」等のブランドイメージを一層高めるとともに、新たな魅力を創出する土地利用を図ります。また、周辺地域と合わせ、新たな魅力としてのイノベーションを創出することで、にぎわいと活力を創出する拠点の形成を図ります。

（３）水と緑・環境と共生するまちづくり

・都立府中の森公園周辺の緑の拠点の形成

○ 都立府中の森公園周辺を、緑の中核的な拠点と位置付け、文化施設やスポーツ施設等の多様な機能を持つ都立府中の森公園を中心に、周辺の都立浅間山公園、都立多磨霊園等との緑のネットワークの形成を図ります。

（４）魅力ある住環境を維持するまちづくり

・地域資源をいかした特色ある景観形成

○ 府中基地跡地留保地の土地利用においては、周辺の建築物との調和に配慮するとともに、統一感のある魅力的な景観形成を図ります。

出典：府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）

⑻　第３次府中市環境基本計画

第３次府中市環境基本計画は、環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として策定したものです。なお、計画期間は、令和５年度から令和１２年度までの８年間です。

基本方針１　脱炭素型のまちを目指します

基本施策１　省エネルギーの推進

個別施策３　市施設の省エネルギー化

市の取組　市民や市内事業所の模範となるべく、市が率先して省エネルギー化に取り組みます。

●新築や大規模改築を行う学校や市の建築物においては、省エネルギー化を進めるとともに、施設のＺＥＢ化を推進します。

●雨水利用による省資源対策を図るため、公共施設を整備する際には、雨水の貯水タンクや貯水槽の設置を検討します。

出典：第３次府中市環境基本計画

⑼　府中市緑の基本計画２０２０

府中市緑の基本計画２０２０は、緑のまちづくりを総合的かつ計画的に推進することを目的として策定したものです。なお、計画期間は、令和元年度から令和１０年度までの１０年間です。

施策１５　公共施設の緑化

（１）公共施設の緑化に取り組みます

①市が設置・管理する公共施設については、緑豊かなまちづくりを先導するモデル施設として、緑化に取り組みます。

施策２５　府中基地跡地留保地における公園・緑地等の整備

（１）新たな緑の空間としての役割をいかした環境づくりを検討します

市が有する「緑豊かなまち」というブランドイメージを踏まえ、府中基地跡地留保地に整備する施設やエリアの価値を高めるための、新たな緑の空間としての役割をいかした環境づくりを検討します。新たな緑の空間としての役割については、周辺の大規模公園等との緑の連続性を考慮して検討し、また、留保地に関わる過去の経緯や継承などについても配慮します。

出典：府中市緑の基本計画２０２０

⑽　府中市地域防災計画（令和６年修正）

府中市地域防災計画は、自助・共助・公助による災害の予防対策、応急・復旧対策及び復興を実現するため、必要な体制や役割分担などを明確にし、総合的かつ計画的な防災対策の整備及び推進を図り、災害が発生した際には、市民の生命、身体、財産などを保護するとともに、市内の被害を最小限にし、都市機能の維持及び防災力の向上を図ることを目的として策定したものです。

震災編　第２部　第８章　避難者対策の整備

第２節　避難場所及び避難所の指定

１－２　避難所

（１）一次避難所

地震等による家屋の倒壊、焼失等で被害を受けた者又は現に被害を受けるおそれのある者を一時的に受け入れ、保護するために活用する。

市立小・中学校の体育館等、郷土の森総合体育館を指定する。避難所に受け入れる被災者数は、おおむね居室３.３平方メートル当たり２人とする。ただし、新たな感染症の拡大等が懸念される際は、避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（東京都避難所管理運営の指針別冊）を参考にするなどして、避難所が過密にならないよう努める。

備蓄物資、寄託物資及び支援物資の配給場所としても活用する。

出典：府中市地域防災計画（令和６年修正）

⑾　府中市国土強靭化地域計画

府中市国土強靭化地域計画は、大規模自然災害等による最悪の事態を回避し、地域住民の生命・財産を守るとともに、地域の社会経済活動が安定的に継続できるよう、府中市の地域特性を踏まえつつ、国・東京都の国土強靭化計画との整合を図りながら策定したものです。

第２章 国土強靭化の基本的な考え方

２ 基本目標

府中市では、国土や経済、地域社会が災害などに遭っても、致命的な被害を負わない強さと、速やかに回復するしなやかさを持つことを目指し、地域特性やリスク等を踏まえ、 次の４つの基本目標を設定しました。

１　人命の保護が最大限図られる。

２　府中市及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される。

３　市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化を図る。

４　迅速な復旧復興を図る。

出典：府中市国土強靭化地域計画

⑿　第２次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画

第２次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画は、学校施設の老朽化対策を着実かつ計画的に実施するために策定したものです。なお、計画期間は、令和７年度から令和３７年度までの３１年間です。

第６章　各学校の老朽化対策を実施するに当たっての整備方針

３　学校施設における建物の整備方針及び配置方針

（４）プールの整備方針

●プールは、熱中症対策や利用率向上を考慮し、屋内化・集約化を検討する。

●プールの屋内化・集約化は、今後行う管理・運営方法等の検討を踏まえるとともに、プールを設置する拠点校の選定や地域の民間プールの活用状況など幅広い視点で検討する。

●プールを設置する拠点校を選定する場合は、他校の児童・生徒及び送迎バス等の動線計画を併せて検討する。

出典：第２次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画

４　市民ニーズ調査

新総合体育館に求められている規模、附帯機能、コンテンツ等に関して、市民ニーズを把握するため、アンケート調査を実施しました。

【図表１３　アンケート調査の概要】

目　　的	新総合体育館に求められている規模、附帯機能、コンテンツ等に関する市民ニーズを把握するため
対　　象	・　市民　※留保地の近隣小・中学校４校の在校生及びその保護者に対しては、個別に調査への回答を依頼 ・　競技団体（府中市スポーツ協会加盟の全２９団体）
期　　間	令和７年３月１日～同月３１日
周知・回答方法	・　広報ふちゅう、市ホームページ、ＳＮＳでアンケート実施を案内 ・　Ｇｏｏｇｌｅ　Ｆｏｒｍｓで調査票を作成し、ウェブ上で回答 ・　Ｇｏｏｇｌｅ　Ｆｏｒｍｓが利用できない市民は、郷土の森総合体育館において、紙で回答 ・　近隣小・中学校は、Ｇｏｏｇｌｅ　Ｆｏｒｍｓのリンクと２次元コードを記載した用紙を各学校から児童・生徒に配布 ・　競技団体は、市から郵送で配布し、ウェブ又は紙で回答

⑴　回答状況

【図表１４　回答状況の概要】

実施対象		回答数【件】
小・中学生	小学校（府中第六小学校・若松小学校）	７０３
	中学校（府中第五中学校・浅間中学校）	３６９
	小計	１，０７２
市民（小・中学生以外）	小・中学校の保護者以外の市民	３７１
	小・中学校の保護者	４４１
	小計	８１２
競技団体		２９
合計		１，９１３

⑵　回答者の属性

ア　小・中学生

⑺　学年

回答数は、中学校２年生の割合がやや少ないものの、全学年の小・中学生から幅広く回答がありました。

【図表１５　小・中学校の学年別回答数・割合】

学　年	回答数【件】	割合【%】
小学校１・２年生	２０７	１９．３%
小学校３・４年生	２３８	２２．２%
小学校５・６年生	２５７	２４．０%
中学校１年生	１７３	１６．１%
中学校２年生	７８	７．３%
中学校３年生	１１９	１１．１%
合　計	１，０７２	１００．０%

⑷　運動やスポーツの好き嫌い

運動やスポーツが「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した小・中学生の割合は８６．６パーセントであり、小・中学生の多くが運動やスポーツに対して好意的な意識を持っていることが分かりました。

【図表１６　運動やスポーツの好き嫌い別の回答数・割合】

運動やスポーツの好き嫌い	回答数【件】	割合【%】
好き	６６９	６２．４%
どちらかといえば好き	２５９	２４．２%
どちらかといえば嫌い	９８	９．１%
嫌い	４６	４．３%
合　計	１，０７２	１００．０%

イ　小・中学生以外の市民

⑺　年代

回答数は、４０代が最も多く、次いで３０代、５０代がほぼ同程度で多いという結果となりました。

【図表１７　年代別の回答数・割合】

年　代	回答数【件】	割合【%】
～１９歳	１３	１．６%
２０～２９歳	１８	２．２%
３０～３９歳	１５８	１９．５%
４０～４９歳	３６６	４５．１%
５０～５９歳	１５９	１９．６%
６０～６９歳	６１	７．５%
７０歳～	３６	４．４%
合　計	８１１	１００．０%

⑷　運動やスポーツの好き嫌い

運動やスポーツが「好き」又は「どちらかといえば好き」と回答した方の割合は８５．１パーセントであり、運動やスポーツに好意的な方が多いことが分かりました。

【図表１８　運動やスポーツの好き嫌い別の回答数・割合】

運動やスポーツの好き嫌い	回答数【件】	割合【%】
好き	３５３	４３．５%
どちらかといえば好き	３３７	４１．６%
どちらかといえば嫌い	９７	１２．０%
嫌い	２４	３．０%
合　計	８１１	１００．０%

ウ　競技団体

回答のあった競技団体は、次のとおりです。

【図表１９　各競技団体】

団体名称
陸上競技協会、野球連盟、ソフトテニス連盟、柔道連盟、剣道連盟、卓球連盟、相撲連盟、バレーボール連盟、弓道連盟、水泳連盟、バスケットボール連盟、スキー連盟、サッカー連盟、空手道連盟、ハンドボール連盟、バドミントン連盟、ソフトボール連盟、庭球連盟、乗馬連盟、なぎなた連盟、クレー射撃連盟、ライフル射撃協会、テコンドー協会、居合道連盟、ダンススポーツ連盟、ゲートボール協会、ターゲットバードゴルフ協会、ゴルフ連盟、グラウンドゴルフ協会

⑶　回答結果

ア　小・中学生（学年別）

⑺　新総合体育館でやってみたいこと

いずれの学年においても、「気軽に運動やスポーツができる」、「天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる」、「いろんな運動やスポーツをやってみることができる」といった環境を求める小・中学生が多い傾向にあります。そのため、新総合体育館における小・中学生の利用を促進する方策として、気軽に多様な種目の運動・スポーツに取り組める場の整備が有効であると考えられます。

また、興行に関しては、スポーツ、コンサート、ｅスポーツのいずれも、同程度の割合で小・中学生が希望していることが分かりました。

【図表２０　新総合体育館でやってみたいこと（学年別）】

		現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな運動やスポーツをやってみることができる	自由にスポーツの試合や対戦ができる	スポーツをみることができる	コンサートをみることができる	ｅスポーツの大会をみたり、参加したりできる	専門のトレーナーやコーチが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけられる	特になし	その他	合計
小学校１・２年生	n	64	76	96	84	57	46	46	25	35	33	14	2	207
	%	30.9	36.7	46.4	40.6	27.5	22.2	22.2	12.1	16.9	15.9	6.8	1.0	
小学校３・４年生	n	48	121	107	69	70	40	33	35	19	56	12	10	238
	%	20.2	50.8	45.0	29.0	29.4	16.8	13.9	14.7	8.0	23.5	5.0	4.2	
小学校５・６年生	n	50	155	119	85	76	33	32	39	11	53	19	8	257
	%	19.5	60.3	46.3	33.1	29.6	12.8	12.5	15.2	4.3	20.6	7.4	3.1	
中学校１年生	n	34	104	71	59	54	30	26	37	5	28	10	2	173
	%	19.7	60.1	41.0	34.1	31.2	17.3	15.0	21.4	2.9	16.2	5.8	1.2	
中学校２年生	n	16	48	25	27	17	19	16	13	3	8	6	2	78
	%	20.5	61.5	32.1	34.6	21.8	24.4	20.5	16.7	3.8	10.3	7.7	2.6	
中学校３年生	n	18	85	49	39	26	17	14	14	3	12	12	5	119
	%	15.1	71.4	41.2	32.8	21.8	14.3	11.8	11.8	2.5	10.1	10.1	4.2	
合計	n	230	589	467	363	300	185	167	163	76	190	73	29	1072
	%	21.5	54.9	43.6	33.9	28.0	17.3	15.6	15.2	7.1	17.7	6.8	2.7	

⑷　新総合体育館に求める機能

いずれの学年においても、「レストラン、カフェなどの食事ができるスペース」、「コンビニエンスストア、売店など」、「まちあわせやひと休みができるスペース」といった機能を求める小・中学生が多い傾向にあります。また、中学生では「勉強や読書、話し合いができるスペース」を求める回答が多く見られます。そのため、新総合体育館では、食事、休憩、勉強・読書など、多目的に利用できるスペースを整備することで、小・中学生の施設利用の促進につながり、運動・スポーツへの親しみやすさの醸成が期待されます。

【図表２１　新総合体育館に求める機能（学年別）】

		レストラン､カフェなどの食事ができるスペース	コンビニエンスストア､売店など	ジム､トレーニングルーム	鏡がついているスタジオ(ダンスルーム・フィットネスルームなど)	屋内のランニングコース	きがえたり､荷物をあずけたりできるスペース	まちあわせやひと休みができるスペース	勉強や読書、話し合いができるスペース	特になし	その他	合計
小学校１・２年生	n	131	79	64	28	57	49	77	73	8	2	207
	%	63.3	38.2	30.9	13.5	27.5	23.7	37.2	35.3	3.9	1.0	
小学校３・４年生	n	147	89	42	40	51	70	82	100	9	17	238
	%	61.8	37.4	17.6	16.8	21.4	29.4	34.5	42.0	3.8	7.1	
小学校５・６年生	n	108	171	44	38	48	74	117	99	11	8	257
	%	42.0	66.5	17.1	14.8	18.7	28.8	45.5	38.5	4.3	3.1	
中学校１年生	n	76	108	40	18	25	38	67	95	9	10	173
	%	43.9	62.4	23.1	10.4	14.5	22.0	38.7	54.9	5.2	5.8	
中学校２年生	n	40	55	15	13	8	17	23	40	4	0	78
	%	51.3	70.5	19.2	16.7	10.3	21.8	29.5	51.3	5.1	0.0	
中学校３年生	n	45	73	37	12	17	29	49	49	5	5	119
	%	37.8	61.3	31.1	10.1	14.3	24.4	41.2	41.2	4.2	4.2	
合計	n	547	575	242	149	206	277	415	456	46	42	1072
	%	51.0	53.6	22.6	13.9	19.2	25.8	38.7	42.5	4.3	3.9	

イ　小・中学生（運動やスポーツの好き嫌い別）

⑺　新総合体育館でやってみたいこと

運動やスポーツが「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した小・中学生は、気軽に運動・スポーツができること、天候に左右されないこと、多様な種目に取り組めることを望む傾向があります。

一方で、運動やスポーツが「きらい」、「どちらかといえばきらい」と回答した小・中学生は、自分に合った運動やスポーツを見つけられることや、コンサート鑑賞などの文化的な体験を求める傾向が見受けられます。このため、新総合体育館の整備に当たっては、現在は運動やスポーツに積極的ではないものの、今後自分に合った活動を見つけたいと考える小・中学生が、気軽に多様な種目を試すことができる環境を整えることが望まれます。

【図表２２　新総合体育館でやってみたいこと（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな運動やスポーツをやってみることができる	自由にスポーツの試合や対戦ができる	スポーツをみることができる	コンサートをみることができる	e スポーツの大会をみたり、参加したりできる	専門のトレーナーやコーチが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけられる	特になし	その他	合計
好き	n	188	390	325	244	221	119	75	96	58	90	22	17	669
	%	28.1	58.3	48.6	36.5	33.0	17.8	11.2	14.3	8.7	13.5	3.3	2.5	
どちらかといえば好き	n	35	141	112	87	60	45	50	37	13	65	19	6	259
	%	13.5	54.4	43.2	33.6	23.2	17.4	19.3	14.3	5.0	25.1	7.3	2.3	
どちらかといえばきらい	n	4	47	28	23	12	17	31	23	3	23	17	3	98
	%	4.1	48.0	28.6	23.5	12.2	17.3	31.6	23.5	3.1	23.5	17.3	3.1	
きらい	n	3	11	2	9	7	4	11	7	2	12	15	3	46
	%	6.5	23.9	4.3	19.6	15.2	8.7	23.9	15.2	4.3	26.1	32.6	6.5	
合計	n	230	589	467	363	300	185	167	163	76	190	73	29	1072
	%	21.5	54.9	43.6	33.9	28.0	17.3	15.6	15.2	7.1	17.7	6.8	2.7	

⑷　新総合体育館に求める機能

いずれの属性においても、「レストラン、カフェなどの食事ができるスペース」、「コンビニエンスストア、売店など」、「まちあわせやひと休みができるスペース」、「勉強や読書、話し合いができるスペース」を求める意見が多く見受けられます。

運動やスポーツの好き嫌いにかかわらず、食事・休憩・学習などが可能な空間が求められており、これらのニーズに応える多目的スペースを整備することで、運動やスポーツが得意でない小・中学生も含め、幅広い層の施設利用を促進できる可能性があります。

【図表２３　新総合体育館に求める機能（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		レストラン、カフェなどの食事ができるスペース	コンビニエンスストア、売店など	ジム、トレーニングルーム	鏡がついているスタジオ（ダンスルーム・フィットネスルームなど）	屋内のランニングコース	きがえたり、荷物をあずけたりできるスペース	まちあわせやひと休みができるスペース	勉強や読書、話し合いができるスペース	特になし	その他	合計
好き	n	340	361	196	92	165	179	237	238	19	30	669
	%	50.8	54.0	29.3	13.8	24.7	26.8	35.4	35.6	2.8	4.5	
どちらかといえば好き	n	127	136	38	38	35	68	113	141	12	9	259
	%	49.0	52.5	14.7	14.7	13.5	26.3	43.6	54.4	4.6	3.5	
どちらかといえばきらい	n	56	53	6	16	3	22	48	54	7	1	98
	%	57.1	54.1	6.1	16.3	3.1	22.4	49.0	55.1	7.1	1.0	
きらい	n	24	25	2	3	3	8	17	23	8	2	46
	%	52.2	54.3	4.3	6.5	6.5	17.4	37.0	50.0	17.4	4.3	
合計	n	547	575	242	149	206	277	415	456	46	42	1072
	%	51.0	53.6	22.6	13.9	19.2	25.8	38.7	42.5	4.3	3.9	

ウ　小・中学生以外の市民（年代別）

⑺　新総合体育館で行いたい活動

全体的に、「気軽に運動やスポーツができる」、「天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる」、「いろんな種類の運動やスポーツを体験できる」ことが、多く選ばれている傾向が見られます。そのため、新総合体育館では、誰もが気軽に利用できる環境の整備に加え、天候に左右されない屋内施設の充実や、スポーツ観戦の機会の提供を通じて、幅広い世代の利用促進につなげることが期待されます。

【図表２４　新総合体育館で行いたい活動（年代別）】

		現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな種類の運動やスポーツを体験できる	自由にスポーツの試合や対戦に参加できる	スポーツ観戦ができる	コンサートを見られる	eスポーツの大会に参加、観戦ができる	専門のトレーナーが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけてくれる	特になし	その他	合計
～１９歳	n	3	8	7	7	2	1	1	0	0	1	1	0	13
	%	23.1%	61.5%	53.8%	53.8%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	
２０～２９歳	n	8	12	9	4	2	5	4	0	1	0	0	2	18
	%	44.4%	66.7%	50.0%	22.2%	11.1%	27.8%	22.2%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	11.1%	
３０～３９歳	n	19	106	79	61	14	43	40	4	18	16	7	11	158
	%	12.0%	67.1%	50.0%	38.6%	8.9%	27.2%	25.3%	2.5%	11.4%	10.1%	4.4%	7.0%	
４０～４９歳	n	61	235	184	143	19	114	101	18	59	32	9	7	366
	%	16.7%	64.2%	50.3%	39.1%	5.2%	31.1%	27.6%	4.9%	16.1%	8.7%	2.5%	1.9%	
５０～５９歳	n	35	101	81	42	6	55	35	5	32	22	4	7	159
	%	22.0%	63.5%	50.9%	26.4%	3.8%	34.6%	22.0%	3.1%	20.1%	13.8%	2.5%	4.4%	
６０～６９歳	n	20	32	31	17	3	13	12	1	11	11	2	2	61
	%	32.8%	52.5%	50.8%	27.9%	4.9%	21.3%	19.7%	1.6%	18.0%	18.0%	3.3%	3.3%	
７０歳～	n	11	16	21	9	5	14	4	2	10	2	1	2	36
	%	30.6%	44.4%	58.3%	25.0%	13.9%	38.9%	11.1%	5.6%	27.8%	5.6%	2.8%	5.6%	
合計	n	157	510	412	283	51	245	197	30	131	84	24	31	811
	%	19.4%	62.9%	50.8%	34.9%	6.3%	30.2%	24.3%	3.7%	16.2%	10.4%	3.0%	3.8%	

⑷　新総合体育館に求める機能

全体的に、「レストラン、カフェ等の飲食スペース」、「コンビニエンスストア、売店など」、「ジム、トレーニングルーム」を求める声が多く見られます。

また、６０歳以上では「着替えや荷物の預け入れができるスペース」、２０代・３０代では「屋内のキッズスペース（託児スペース含む)」を求める傾向があります。そのため、新総合体育館においては、例えばキッズスペースを整備することで、子育て世代である２０代・３０代の利用を促進できる可能性があります。

【図表２５　新総合体育館に求める機能（年代別)】

		レストラン､カフェ等の飲食スペース	コンビニエンスストア、売店	ジム､トレーニングルーム	鏡がついているスタジオ(フィットネス・ダンスルーム等)	屋内ランニングコース	着替えや荷物の預け入れができるスペース	待ち合わせや休憩ができるスペース	勉強や読書、会議ができるスペース	屋内のキッズスペース（託児スペース含む)	特になし	その他	合計
～１９歳	n	6	8	4	1	1	2	5	5	1	0	2	13
	%	46.2%	61.5%	30.8%	7.7%	7.7%	15.4%	38.5%	38.5%	7.7%	0.0%	15.4%	
２０～２９歳	n	7	8	7	2	2	5	4	2	8	0	1	18
	%	38.9%	44.4%	38.9%	11.1%	11.1%	27.8%	22.2%	11.1%	44.4%	0.0%	5.6%	
３０～３９歳	n	85	69	73	18	25	38	42	26	63	1	16	158
	%	53.8%	43.7%	46.2%	11.4%	15.8%	24.1%	26.6%	16.5%	39.9%	0.6%	10.1%	
４０～４９歳	n	229	154	156	52	58	87	108	106	55	6	21	366
	%	62.6%	42.1%	42.6%	14.2%	15.8%	23.8%	29.5%	29.0%	15.0%	1.6%	5.7%	
５０～５９歳	n	78	65	94	22	26	53	33	31	9	1	24	159
	%	49.1%	40.9%	59.1%	13.8%	16.4%	33.3%	20.8%	19.5%	5.7%	0.6%	15.1%	
６０～６９歳	n	28	27	29	9	5	32	11	8	5	0	9	61
	%	45.9%	44.3%	47.5%	14.8%	8.2%	52.5%	18.0%	13.1%	8.2%	0.0%	14.8%	
７０歳～	n	24	15	15	3	3	20	9	4	0	3	4	36
	%	66.7%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	55.6%	25.0%	11.1%	0.0%	8.3%	11.1%	
合計	n	457	346	378	107	120	237	212	182	141	11	77	811
	%	56.4%	42.7%	46.6%	13.2%	14.8%	29.2%	26.1%	22.4%	17.4%	1.4%	9.5%	

エ　小・中学生以外の市民（運動やスポーツの好き嫌い）

⑺　新総合体育館で行いたい活動

運動やスポーツが「好き」と回答した人は、「気軽に運動やスポーツができる」、「天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる」、「いろんな種類の運動やスポーツを体験できる」ことを求めています。一方で、「嫌い」と回答した人は、コンサート鑑賞などの文化的な活動をより重視する傾向があります。そのため、新総合体育館を幅広い市民に利用される施設とするためには、スポーツ以外のイベント、特にコンサートなどの文化的催しにも対応できる施設とすることが有効だと考えられます。

【図表２６　新総合体育館で行いたい活動（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		総計	現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天気に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな種類の運動やスポーツを体験できる	自由にスポーツの試合や対戦に参加できる	スポーツ観戦ができる	コンサートを見られる	eスポーツの大会に参加、観戦ができる	専門のトレーナーが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけてくれる	特になし	その他	合計
好き	n	353	107	233	196	120	30	122	56	10	54	17	4	13	353
	%		30.3%	66.0%	55.5%	34.0%	8.5%	34.6%	15.9%	2.8%	15.3%	4.8%	1.1%	3.7%	
どちらかといえば好き	n	337	41	213	166	135	21	91	92	15	62	43	8	13	337
	%		12.2%	63.2%	49.3%	40.1%	6.2%	27.0%	27.3%	4.5%	18.4%	12.8%	2.4%	3.9%	
どちらかといえば嫌い	n	97	7	57	43	26	0	26	40	3	13	22	5	5	97
	%		7.2%	58.8%	44.3%	26.8%	0.0%	26.8%	41.2%	3.1%	13.4%	22.7%	5.2%	5.2%	
嫌い	n	24	2	7	7	2	0	6	9	2	2	2	7	0	24
	%		8.3%	29.2%	29.2%	8.3%	0.0%	25.0%	37.5%	8.3%	8.3%	8.3%	29.2%	0.0%	
合計	n	811	157	510	412	283	51	245	197	30	131	84	24	31	811
	%		19.4%	62.9%	50.8%	34.9%	6.3%	30.2%	24.3%	3.7%	16.2%	10.4%	3.0%	3.8%	

⑷　新総合体育館に求める機能

「レストラン、カフェ等の飲食スペース」、「コンビニエンスストア、売店など」については、いずれの属性においても３割以上の方から導入を求められています。また、「着替えや荷物の預け入れができるスペース」、「待ち合わせや休憩ができるスペース」、「勉強や読書、会議ができるスペース」を求める声も多く見られます。

これらの機能は、運動やスポーツの好き嫌いにかかわらず幅広く市民から求められているものであり、利便性の高い施設整備を進める上で、必要不可欠な要素であると考えられます。

【図表２７　新総合体育館に求める機能（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		レストラン、カフェ等の飲食スペース	コンビニエンスストア、売店	ジム、トレーニングルーム	鏡がついているスタジオ（フィットネス・ダンスルーム等）	屋内ランニングコース	着替えや荷物の預け入れができるスペース	待ち合わせや休憩ができるスペース	勉強や読書、会議ができるスペース	屋内のキッズスペース（託児スペース含む）	特になし	その他	合計
好き	n	183	159	183	47	62	100	81	68	55	2	46	353
	%	51.8%	45.0%	51.8%	13.3%	17.6%	28.3%	22.9%	19.3%	15.6%	0.6%	13.0%	
どちらかといえば好き	n	195	137	151	50	48	109	96	80	56	4	24	337
	%	57.9%	40.7%	44.8%	14.8%	14.2%	32.3%	28.5%	23.7%	16.6%	1.2%	7.1%	
どちらかといえば嫌い	n	65	41	37	9	10	22	26	28	26	4	6	97
	%	67.0%	42.3%	38.1%	9.3%	10.3%	22.7%	26.8%	28.9%	26.8%	4.1%	6.2%	
嫌い	n	14	9	7	1	0	6	9	6	4	1	1	24
	%	58.3%	37.5%	29.2%	4.2%	0.0%	25.0%	37.5%	25.0%	16.7%	4.2%	4.2%	
合計	n	457	346	378	107	120	237	212	182	141	11	77	811
	%	56.4%	42.7%	46.6%	13.2%	14.8%	29.2%	26.1%	22.4%	17.4%	1.4%	9.5%	

オ　競技団体

⑺　新総合体育館への要望（広さ）

【図表２８　理想的な広さ、最低限必要な広さ】

団体名	練習など普段の団体の競技活動をするに当たって、 ①理想的な広さと②最低限必要な広さ
柔道連盟	①柔道場４試合場分　５０畳×４ ②柔道場２試合場分　５０畳×２
剣道連盟	現在の総合体育館第２武道場程度
卓球連盟	卓球室に常設８台、現行どおり
相撲連盟	土俵１面（１０ｍ×１０ｍ）、競技スペース（土俵なし）１面、桟敷席、本部席、その他設備等
バレーボール連盟	①バレーボールコート１面男子２１ｍ×１０．５ｍ　女子１８ｍ×９ｍ ②バレーボールコート１面＋フリーゾーン(エンドラインから６．５ｍ、サイドラインから５ｍ)
弓道連盟	弓道場全体として、約３２ｍ×５１ｍの広さ（近的競技） ※上記の広さは、選手１０人が同時に競技できる広さ
バスケットボール連盟	バスケットボールコート２面、余裕を持って取れる程度。現総合体育館は少し狭い。
スキー連盟	トレーニング用２０ｍ×３０ｍ程度
サッカー連盟	２５ｍ×３５ｍ
空手道連盟	①競技用コート４面、もう少し広く使いたい。 ※１面に必要な広さ：約１６ｍ×約１６ｍ ②競技用コート４面 ※１面に必要な広さ：約１５ｍ×約１５ｍ
ハンドボール連盟	①ハンドボールコート２面 ②ハンドボールコート１面（２５ｍ×４５ｍ）
バドミントン連盟	①バドミントンコート メインアリーナ１２面、サブアリーナ６面 ※上部団体（日本バドミントン協会）の大会を開催する場合サブアリーナには１０面欲しい ②市民大会（小・中学生の部）バドミントンコート メイン１０面＋サブ６面、 総合選手権（高校生の部含む。）バドミントンコート メイン１０面、 その他大会バドミントンコート　メイン６面
庭球連盟	テニスコート４面以上（バックライン後方７ｍ）
なぎなた連盟	①２０ｍ×１８ｍ ②１６ｍ×１６ｍ

ライフル射撃協会	現在のライフル射撃場と同程度(射撃距離１０ｍ×１０射座、控室、控えスペース)
テコンドー協会	９ｍ×９ｍ　４コート
居合道連盟	①現総合体育館第２武道場（４９５㎡）の１．５倍程度（２０ｍ×４０ｍ程度） ②現総合体育館第２武道場（４９５㎡）以上
ダンススポーツ連盟	①３５ｍ×２５ｍ(競技スペースを２６ｍ×１６ｍ、左右の待機スペースを各４．５０ｍ) ②３０ｍ×２０ｍ

※　上記以外の団体は主に屋外スポーツ施設を利用しているため、要望なし。

※　①・②の記載がない場合は、団体からの要望内容を踏まえ、理想と最低限を同じ内容として記載しています。

⑷　新総合体育館への要望（機能）

新総合体育館に導入してほしい機能としては、「着替えや選手の控室として使えるスペース」、「講習会・会議ができるスペース」が最も多く、次いで、「観戦できるスペース」や「コンビニエンスストア、売店など」が挙げられています。また、自由記述では、収納スペースに関する意見も多くありました。

【図表２９　新総合体育館に導入して欲しい機能（選択式回答)】

項目	回答数【件】	割合【%】
レストラン、カフェなどの食事ができるスペース	４	５．６
コンビニエンスストア、売店など	１１	１５．３
ジム、トレーニングルーム	１	１．４
鏡がついているスタジオ（ダンスルーム・フィットネスルームなど)	１	１．４
屋内のランニングコース	１	１．４
着替えや選手の控室として使えるスペース	１４	１９．４
観戦ができるスペース	１２	１６．７
まちあわせやひと休みができるスペース	０	０
講習会・会議ができるスペース	１４	１９．４
屋内のキッズスペース（託児スペース含む)	１	１．４
特になし	８	１１．１
その他	５	６．９
合計	７２	１００

【図表３０　新総合体育館に導入して欲しい機能（自由記述)】

分類	主な回答
スポーツ利用時に希望する諸室等	・　収納スペース ・　団体が使用可能なロッカー（備品収納） ・　各連盟用の個室（物品庫） ・　講師や師範専用の更衣室 ・　鏡がついている武道場 ・　インドアテニスコート２面、テニス床 ・　屋内プール ・　アルミ用ハンドボールゴール
大会等の開催に必要となる諸室等	・　選手と観客との区別が出来るような施設 ・　大きな大会を実施する際に一定の諸室を完備し、選手の動線や観客の動線も考慮した施設 ・　武道場の周囲に観客席を設置 ・　アリーナから直接観客席へ往来できる通路 ・　アリーナの観客席を現状より増設 ・　大会等で使用する机・椅子の軽量化
スポーツ利用時に望ましい設備	・　空調、特に夏の暑さ対策 ・　看板掲示など、より便利なスタイル ・　エアコンによる気流漏れ、カーテンによる日ざしの差し込みなどの完全遮断 ・　明るさの規定照度、周囲の壁を白い色にしない、ボールが見えにくいため
交通	・　駐車スペースの拡張、収容台数を現状より３～５割増 ・　交通機関の充実
バリアフリー	・　エレベーター、スロープの設置（車いす対応） ・　スロープでの卓球台の移動
その他	・　外から出入り自由なコンビニ・レストランの設置 ・　スポーツウェアショップの設置 ・　靴とシューズの履き替えの簡略化

５　ワークショップ

⑴　実施概要

ア　実施目的

本市の将来を担う小・中学生を対象に、当該世代の視点や発想を反映した訪れたくなる体育館に関する意見を収集することにより、今後の施設整備において多様な世代・属性への理解促進の一助とすることを目的として、ワークショップを実施しました。

イ　実施方法

新総合体育館の計画概要や体育館・アリーナの最新事例紹介及び市民アンケート結果について説明した後、市が設定したテーマについてグループワークを実施し、各グループで挙げられた意見を発表しました。

ウ　実施対象

ワークショップは、府中第三中学校の２年生と矢崎小学校の６年生を対象に、次のとおり実施しました。

【図表３１　ワークショップの概要】

実施日	実施場所	対象学年	テーマ
令和７年 ５月２３日（金）	府中第三中学校	２年生	気軽に運動やスポーツができるようにするためには、どんな体育館になればよいですか？ （こんなことができたら行きたくなる体育館、こんな機能・空間があったら使いたくなる体育館）
令和７年 ６月２１日（土）	矢崎小学校	６年生	外で遊べない日や運動・スポーツが苦手な友だちでも運動・スポーツを楽しめるような遊びを考えよう。 （こんな遊びや利用ができたら行きたくなる体育館）

【図表３２　ワークショップの様子（府中第三中学校）】

【図表３３　ワークショップの様子（矢崎小学校）】

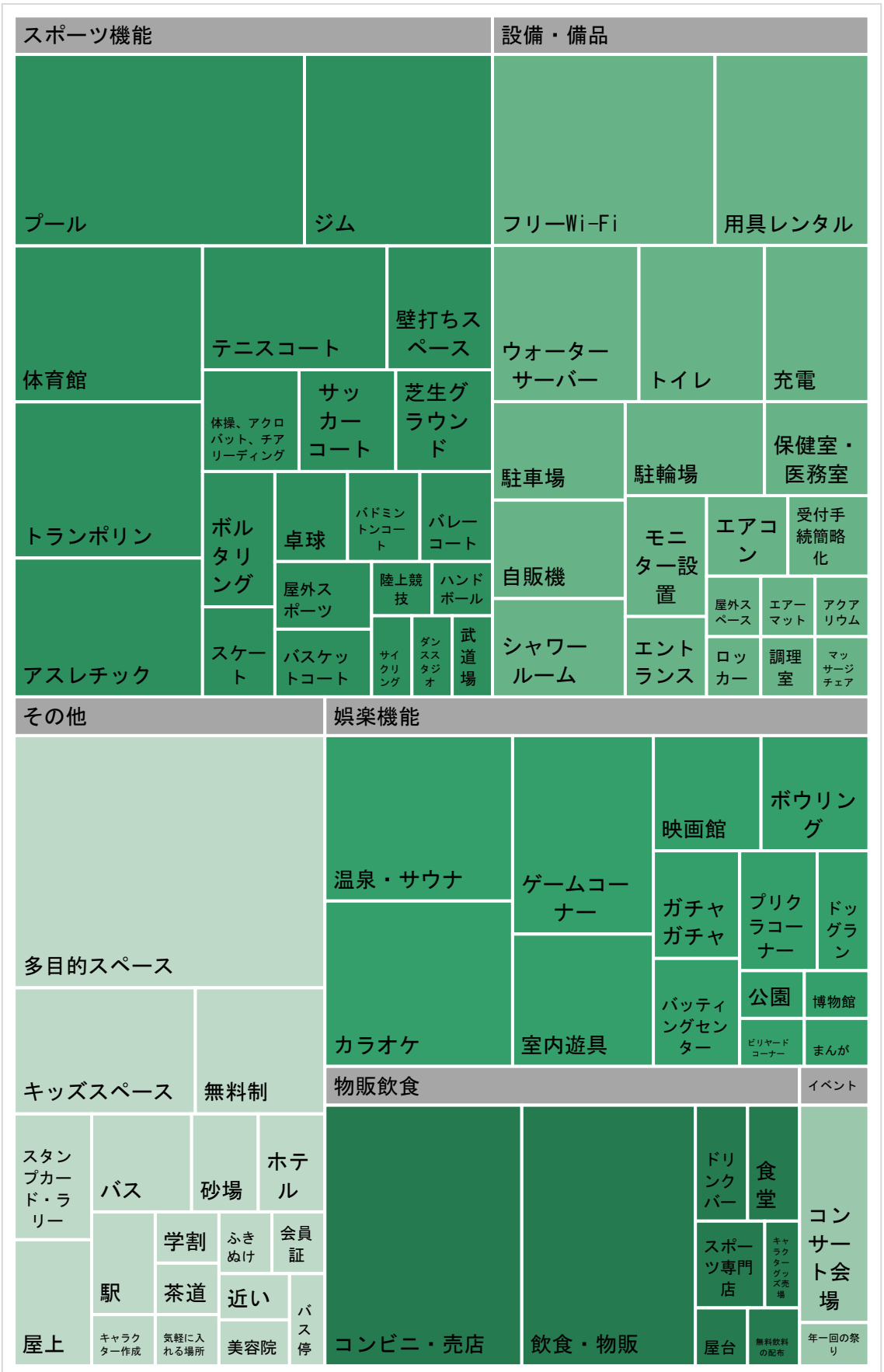
⑵　実施結果

ワークショップで集まった意見は、ツリーグラフを用いて集計しました。ツリーグラフでは、図形の大きさが集まった意見の多さを表しています。

スポーツ機能については、小学生・中学生ともにプールやジム、アスレチックに加え、各種スポーツができることが望まれ、物販・飲食機能の要望も多く集まりました。また、小学生からは、スポーツ機能以外の娯楽機能に関する意見も多く集まりました。

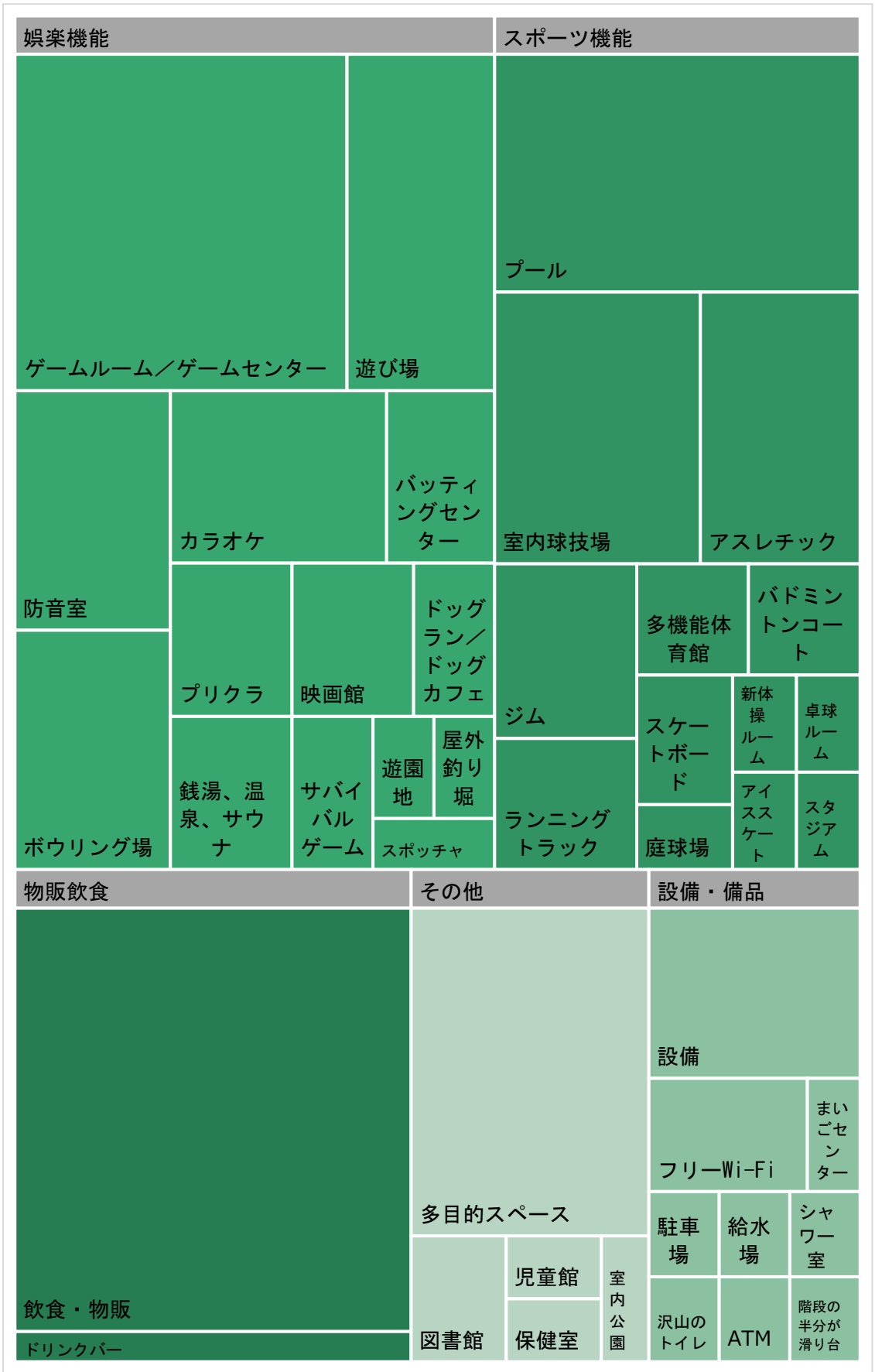
ア　府中第三中学校

【図表３４　ワークショップでの意見（府中第三中学校）】



イ　矢崎小学校

【図表３５　ワークショップでの意見（矢崎小学校）】



６　オープンハウス

⑴　実施概要

ア　実施目的

幅広い世代の市民に本事業の周知を行うとともに、新総合体育館に対する様々な意見を伺うことを目的として、多くの市民の方などが集まる市内施設において、オープンハウスを実施しました。

イ　実施方法

新総合体育館の計画概要をＡ１判のパネルで掲示し、職員が市民と直接対話しながら内容を説明しました。また、新総合体育館でやってみたい活動や欲しい機能について、パネルにシールを貼る形で、参加者の意見を伺いました。シールは、運動やスポーツが好きな人と嫌いな人で色分けし、区別して回答を集計しました。

ウ　実施場所

現総合体育館、フォーリス及び生涯学習センターの３施設で実施しました。

【図表３６　オープンハウスの概要】

	実施日時	実施場所
①	令和７年７月１日（火）～７月５日（土） 午前１０時～午後５時	現総合体育館 １階　エントランスホール
②	令和７年７月２日（水）・７月３日（木） 両日とも午前１０時～午後５時	フォーリス １階　「光と風の広場」
③	令和７年７月６日（日）～７月１０日（木） 午前１０時～午後５時	生涯学習センター １階　体育施設入口付近

【図表３７　オープンハウスの様子（生涯学習センター）】

⑵　実施結果

オープンハウスの結果を、単純集計と、運動やスポーツの好き嫌いによるクロス集計でまとめました。

全体として、気軽に運動やスポーツができること、天候に左右されずに運動やスポーツができることを求めている意見が多い傾向にあり、スポーツ観戦やコンサート・演劇鑑賞を希望する声もありました。また、求める機能としてレストランやカフェ、売店等の飲食・物販機能に次いで、着替えや荷物の預け入れ、休憩、勉強ができるスペース及びキッズスペースが多く挙げられました。

運動やスポーツの好き嫌いによるクロス集計からは、運動やスポーツが嫌いな人も、好きな人と同じように、気軽に、天候に左右されずに運動やスポーツができることを求めていることが分かります。また、運動やスポーツが嫌いな人の方が、スポーツ観戦やコンサート・演劇鑑賞をしてみたいという割合が大きいという結果になりました。

ア　集計結果

【図表３８　新総合体育館でやってみたいこと】

		現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天候に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな種類の運動やスポーツを体験できる	自由にスポーツの試合や対戦に参加できる	スポーツ観戦ができる	コンサートや演劇を見られる	eスポーツの大会に参加、観戦ができる	専門のトレーナーが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけてくれる	その他	合計
フォーリス	n	27	62	66	43	18	53	55	8	30	24	6	392
	%	6.9%	15.8%	16.8%	11.0%	4.6%	13.5%	14.0%	2.0%	7.7%	6.1%	1.5%	100.0%
総合体育館	n	36	45	32	21	9	19	19	1	22	4	0	208
	%	17.3%	21.6%	15.4%	10.1%	4.3%	9.1%	9.1%	0.5%	10.6%	1.9%	0.0%	100.0%
生涯学習センター	n	27	77	63	47	24	30	47	13	43	26	11	408
	%	6.6%	18.9%	15.4%	11.5%	5.9%	7.4%	11.5%	3.2%	10.5%	6.4%	2.7%	100.0%
合計	n	90	184	161	111	51	102	121	22	95	54	17	1008
	%	8.9%	18.3%	16.0%	11.0%	5.1%	10.1%	12.0%	2.2%	9.4%	5.4%	1.7%	100.0%

【図表３９　新総合体育館に求める機能】

		レストラン、カフェ等の飲食スペース	コンビニエンスストア、売店	ジム、トレーニングルーム	鏡がついているスタジオ（フィットネス・ダンスルーム等）	屋内ランニングコース	着替えや荷物の預け入れができるスペース	待ち合わせや休憩ができるスペース	勉強や読書、会議ができるスペース	屋内のキッズスペース（託児スペース含む）	その他	合計
フォーリス	n	93	52	67	21	22	46	43	49	45	6	444
	%	20.9%	11.7%	15.1%	4.7%	5.0%	10.4%	9.7%	11.0%	10.1%	1.4%	100.0%
総合体育館	n	41	45	38	13	13	19	18	12	19	1	219
	%	18.7%	20.5%	17.4%	5.9%	5.9%	8.7%	8.2%	5.5%	8.7%	0.5%	100.0%
生涯学習センター	n	73	56	62	32	35	38	37	40	49	6	428
	%	17.1%	13.1%	14.5%	7.5%	8.2%	8.9%	8.6%	9.3%	11.4%	1.4%	100.0%
合計	n	207	153	167	66	70	103	98	101	113	13	1091
	%	19.0%	14.0%	15.3%	6.0%	6.4%	9.4%	9.0%	9.3%	10.4%	1.2%	100.0%

イ　運動やスポーツの好き嫌いによるクロス集計結果

【図表４０　新総合体育館でやってみたいこと（クロス集計）】

		現在やっているスポーツの大会ができる	気軽に運動やスポーツができる	天候に関係なく、いつでも運動やスポーツができる	いろんな種類の運動やスポーツを体験できる	自由にスポーツの試合や対戦に参加できる	スポーツ観戦ができる	コンサートや演劇を見られる	eスポーツの大会に参加、観戦ができる	専門のトレーナーが運動やスポーツについて教えてくれる	自分に合う運動やスポーツを見つけてくれる	その他	合計
好き	n	84	147	127	94	41	75	80	12	79	39	12	790
	%	10.6%	18.6%	16.1%	11.9%	5.2%	9.5%	10.1%	1.5%	10.0%	4.9%	1.5%	100.0%
嫌い	n	6	37	34	17	10	27	41	10	16	15	5	218
	%	2.8%	17.0%	15.6%	7.8%	4.6%	12.4%	18.8%	4.6%	7.3%	6.9%	2.3%	100.0%
合計	n	90	184	161	111	51	102	121	22	95	54	17	1008
	%	8.9%	18.3%	16.0%	11.0%	5.1%	10.1%	12.0%	2.2%	9.4%	5.4%	1.7%	100.0%

【図表４１　新総合体育館に求める機能（クロス集計)】

		レストラン、カフェ等の飲食スペース	コンビニエンスストア、売店	ジム、トレーニングルーム	鏡がついているスタジオ（フィットネ・ダンスルーム等)	屋内ランニングコース	着替えや荷物の預け入れができるスペース	待ち合わせや休憩ができるスペース	勉強や読書、会議ができるスペース	屋内のキッズスペース（託児スペース含む)	その他	合計
好き	n	151	112	130	57	51	82	72	67	82	8	812
	%	18.6%	13.8%	16.0%	7.0%	6.3%	10.1%	8.9%	8.3%	10.1%	1.0%	100.0%
嫌い	n	56	41	37	9	19	21	26	34	31	5	279
	%	20.1%	14.7%	13.3%	3.2%	6.8%	7.5%	9.3%	12.2%	11.1%	1.8%	100.0%
合計	n	207	153	167	66	70	103	98	101	113	13	1091
	%	19.0%	14.0%	15.3%	6.0%	6.4%	9.4%	9.0%	9.3%	10.4%	1.2%	100.0%

７　新総合体育館の必要性や求められる役割

⑴　新総合体育館の必要性

現総合体育館は、全市的なスポーツイベントの開催を通じて、本市の中核的なスポーツ施設として年間２０万人を超える利用があり、多くの市民に親しまれています。しかし、建設から５０年以上が経過し、老朽化が著しく進行しているため、新総合体育館の整備は喫緊の課題であり、早急かつ着実に推進していく必要があります。

新総合体育館の整備に当たっては、従来の「する」スポーツの場としての機能に加え、本市の特長であるトップチームの観戦・応援といった「みる」スポーツの視点も取り入れた環境の整備や、災害時における避難所や地域内輸送拠点として活用可能な施設機能の検討が必要です。

⑵　新総合体育館に求められる役割

上位・関連計画、市民ニーズ調査、現総合体育館及び関連施設の利用状況等を踏まえた現状の課題等を整理し、次のとおり新総合体育館に求められる役割を分析しました。

【図表４２　上位計画・関連計画を踏まえた、新総合体育館に求められる役割】

上位計画・関連計画	新総合体育館に求められる役割
第７次府中市総合計画前期基本計画	・　市民がスポーツを身近に感じ、健康で元気に過ごせる機会の提供と環境の整備を行うこと。 ・　トップチームやアスリートの活躍を身近に観戦できる機会を確保すること。
第２次府中市スポーツ推進計画	・　「する」スポーツ利用に加え、「みる」スポーツの場の整備を行うこと。 ・　災害時に必要な機能を考慮すること。 ・　市民ニーズなどに応じた機能の整理や規模・運営手法などを検討すること。
府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画（令和７年５月改定）	・　多様なライフスタイルや都市活動のニーズに対応する本市の新たな憩いとにぎわいの拠点となること。 ・　「スポーツタウン府中」のブランド力向上を目指すこと。
府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画	・　老朽化対策や防災面などの機能強化を図ること。 ・　市内トップチームの試合を観戦できるよう観客席数などの規模を検討すること。 ・　多機能化等を検討し、施設の有効活用を図ること。
府中市地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画	・　市民が主体的に健康づくり等に取り組むことができる環境づくりを推進すること。 ・　高齢者や障害のある人を含めた全ての人が、安全・安心に利用できるユニバーサルデザインを推進すること。
第３次府中市保健計画	・　生涯にわたり切れ目のない健康づくりに向けた取組に資すること。 ・　各世代の運動不足の解消や運動量の増加に資すること。

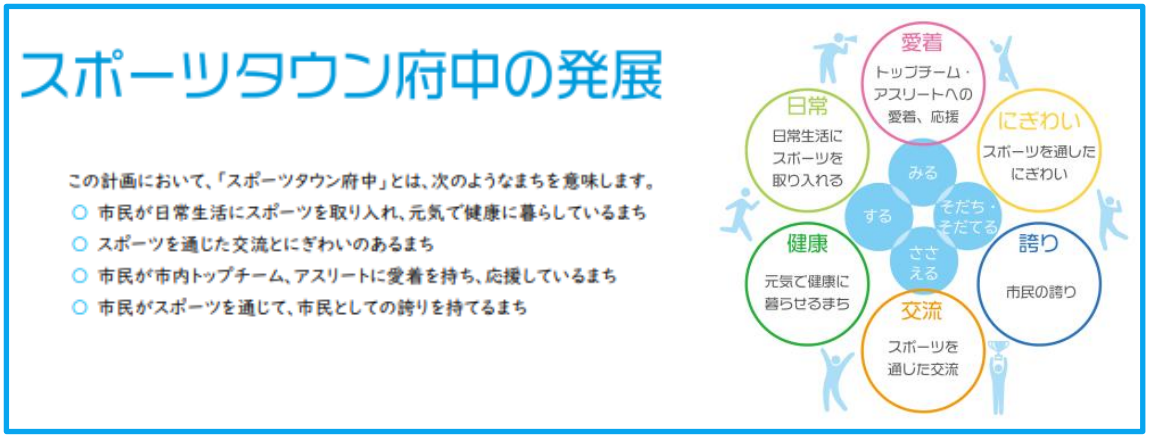
府中市都市計画に関する基本的な方針（府中市都市計画マスタープラン）	・　「スポーツタウン」のブランドイメージを一層高めること。 ・　周辺地域と合わせ、新たな魅力を創出し、にぎわいと活力を創出する拠点の形成に資すること。 ・　周辺の緑との連続性を確保するとともに、一体的な緑地空間を創出し、にぎわいや憩いの空間、災害時の避難場所等、緑をいかした新たな空間づくりを図ること。 ・　周辺の建築物との調和に配慮するとともに、統一感のある魅力的な景観形成を図ること。
第３次府中市環境基本計画	・　環境配慮型の設備や機能の導入を検討し、省エネルギー化に取り組むこと。
府中市緑の基本計画２０２０	・　施設の緑化に取り組むこと。 ・　周辺の大規模公園等との緑の連続性を考慮して検討すること。
府中市地域防災計画（令和６年修正）	・　災害時でも安全・安心に十分な避難者を収容できる空間を確保すること。 ・　物資の配給場所としての活用を検討すること。 ・　利用者が帰宅困難となった際の保護に係る計画をあらかじめ定めておくこと。
府中市国土強靱化地域計画	・　災害時に施設に係る被害の最小化を図るとともに、地域社会が迅速な復旧復興を図れるよう、対応すること。
第２次府中市学校施設改築・長寿命化改修計画	・　学校プールの屋内化・集約化の検討に当たり、新総合体育館でプールを整備する場合にはプール授業での活用を検討すること。
令和６年度市民ニーズの調査	・　市民の方々の気軽な利用に対応すること。 ・　施設内で創出される屋内空間の有効活用を図ること。 ・　若い世代の居場所を提供すること。 ・　コンサート等、スポーツ以外のイベント開催など多目的な利用に対応したメインアリーナの形状や機能を備えること。

８　府中らしさ

第２次府中市スポーツ推進計画では、「スポーツタウン府中の発展」を基本理念に掲げ、「市民が日常生活にスポーツを取り入れ、元気で健康に暮らしているまち」、「スポーツを通じた交流とにぎわいのあるまち」、「市民が市内トップチーム、アスリートに愛着を持ち、応援しているまち」、「市民がスポーツを通じて、市民としての誇りを持てるまち」の実現を目指して、施策を推進しています。

新総合体育館は、こうした「府中らしさ」を体現する拠点として、単なるスポーツ施設にとどまらず、市民の交流や地域への誇りを育む場として、多機能で魅力的な施設へと昇華させることが求められています。

【図表４３　第２次府中市スポーツ推進計画で掲げる基本理念】



出典：第２次府中市スポーツ推進計画（概要版）

第３章　事業予定地

１　事業予定地の概要

現総合体育館は、郷土の森公園内に位置していますが、留保地に整備する公園内に移転する予定です。

この留保地は、かつて米軍基地の一部として使われていた約１４．９ヘクタールの未利用地であり、令和３年９月には隣接する米軍通信施設跡地（約０．７ヘクタール）が日本に返還されたことで、留保地及び米軍通信施設跡地を合わせた合計約１５．６ヘクタールの土地利用の検討が可能になりました。

令和７年５月に改定した府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画では、留保地西側の一部においてオオタカの生息・営巣が確認されたことから、希少な猛きん類等の生息環境を保全するため、当該地域を、引き続き国が維持管理する保全区域（約７．２ヘクタール）として位置付けることとしています。

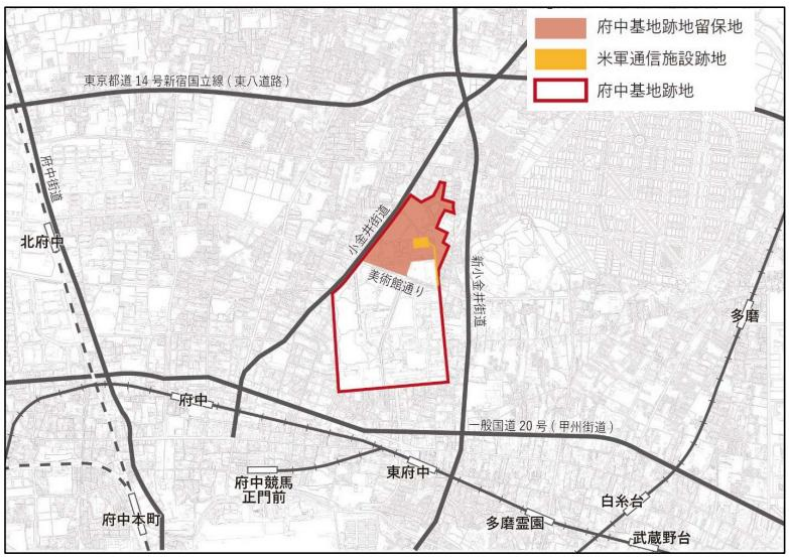
一方、東側の留保地及び米軍通信施設跡地に加え、平和の森公園及び生涯学習センターを含めた敷地を、約９．２ヘクタールの公園として本市が利用することを示しています。

なお、留保地及び米軍通信施設跡地は現時点では国有地ですが、本市が公園として土地利用する部分については、今後、都市計画変更等の手続を経た上で、本市が取得することを想定しています。

⑴　留保地及び米軍通信施設跡地の周辺状況

留保地及び米軍通信施設跡地は、府中駅から約１．６キロメートル、東府中駅から約１．３キロメートル、武蔵小金井駅から約２．６キロメートルに位置しています。西側は都道の小金井街道に隣接し、南側は市道の美術館通りに隣接しています。また、留保地の周辺には、生涯学習センター、府中市美術館、平和の森公園、都立府中の森公園、都立浅間山公園等、多くの公共施設が立地しています。

【図表４４　留保地及び米軍通信施設跡地の周辺状況】



出典：府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画

【図表４５　府中基地跡地全体の土地利用の現状】

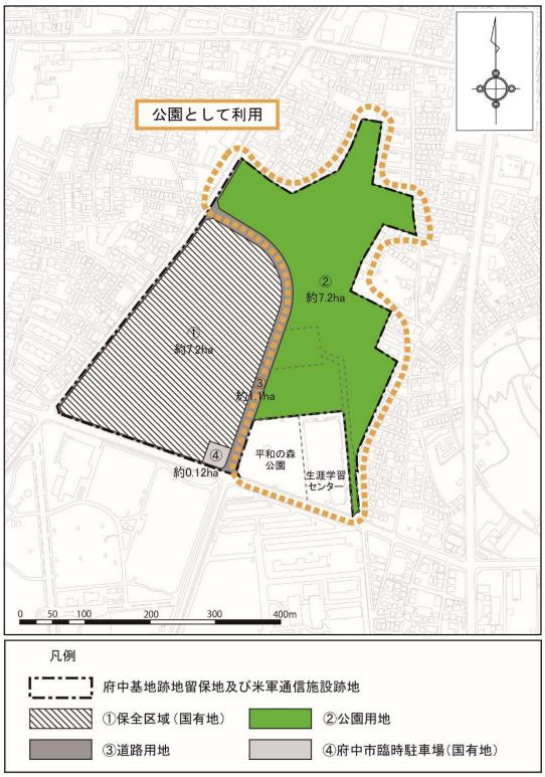
出典：オープンハウス（令和６年１０月開催）「府中基地跡地留保地利用計画」の見直しについて

⑵　留保地及び米軍通信施設跡地の土地利用

国有地である留保地及び米軍通信施設跡地に加えて、本市の既存施設である平和の森公園及び生涯学習センターの敷地を一体的に整備し、公園として利用することで、多様なライフスタイルや都市活動のニーズに対応する本市の新たな憩いとにぎわいの拠点となることを目指します。公園内に整備する新総合体育館は、留保地、平和の森公園敷地及び生涯学習センター敷地にまたがるように整備し、附属機能として多目的グラウンドを設置するなど、機能を充実させることで「スポーツタウン府中」のブランド力向上を目指します。詳細な位置は、今後策定を予定している基本計画で検討します。

なお、令和４年から令和６年までに国が実施した自然環境調査において、東京都の保護上重要な野生動物種（レッドリスト）に位置付けられているオオタカの営巣等が確認されたことを受け、留保地及び米軍通信施設跡地の西側は保全区域とし、引き続き国有地と位置付けることとしますが、今後、保全区域の取扱いが変更され、土地利用の実現が可能となった場合においては、本市の意見が反映されるよう協議の場を設けることを要請するなど、引き続き本市にとって望ましい土地利用を目指します。

【図表４６　留保地及び米軍通信施設跡地の土地利用計画図】



出典：府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画

⑶　事業予定地の現況

【図表４７　事業予定地の現況】

所在地		府中市浅間町１丁目
公園用地面積		約９．２ヘクタール ◆留保地及び米軍通信施設跡地（約７．２ヘクタール） ◆平和の森公園（約１．０ヘクタール） ◆生涯学習センター（約１．０ヘクタール）
都市計画	位置付け	「緑豊かなまち」、「スポーツタウン」、「文化・芸術のまち」などの市のブランドイメージを一層高めるとともに、市の新たな魅力を創出する土地利用を図る。
	用途地域等	◆留保地及び米軍通信施設跡地 第一種低層住居専用地域（建ぺい率３０％、容積率５０％）、第一種高度地区
		◆平和の森公園 第一種低層住居専用地域（建ぺい率３０％、容積率５０％）、第一種高度地区、都市計画公園
		◆生涯学習センター 第二種住居地域（建ぺい率６０％、容積率２００％）、第二種高度地区

２　事業予定地の整備条件

新総合体育館の事業予定地は、留保地の公園用地に加え、平和の森公園及び生涯学習センター敷地にまたがる位置に整備するため、新総合体育館の事業予定地における整備条件として留意すべき事項を整理しました。

【図表４８　留意すべき事項と事業予定地の整備条件】

留意すべき事項	事業予定地の整備条件
用途地域の変更	・　事業予定地の多くが第一種低層住居専用地域に指定されていることから、新総合体育館の機能・規模や公園施設内での整備等を踏まえて、用途地域の変更や特別用途地区の指定、地区計画の導入など、適切な都市計画の整理及び手続を行う必要があります。
建ぺい率の制約	・　事業予定地は都市公園とする予定のため、現状は、府中市立公園条例で規定している建ぺい率が上限となります。将来的に公園部分にＰａｒｋ－ＰＦＩ（公募設置管理制度）等の展開による自由度の確保も想定して、新総合体育館の整備範囲を決める必要があります。
アクセス、駐車場の配置	・　自動車の渋滞の回避を考慮したアクセスや、駐車場の配置・収容台数を検討する必要があります。 ・　自動車以外の新たな公共交通手段等を検討する必要があります。
保全区域への配慮	・　隣接地は、当面の間、希少な猛きん類であるオオタカの生息環境を保全するための保全区域とされることから、オオタカの生息環境に配慮した工事スケジュール等を立案する必要があります。
統一されたデザインの設定	・　多様な来場者が利用しやすいユニバーサルデザインを導入し、案内看板や誘導標式等のサイン計画や植栽、園路等、景観のデザインを統一することで一体的な空間利用の展開が期待できます。

第４章　基本理念・基本方針

１　基本理念

新総合体育館に求められる役割、府中らしさ、事業予定地における土地利用の考え方等を踏まえ、本施設が目指すべき姿として、次のとおり基本理念を定めます。

『このまちの誇り、スポーツタウンの未来をひらく多機能アリーナ』

～感動が生まれる場所。スポーツの力が育む、まちの誇りと魅力の新拠点～

２　基本方針

基本理念の実現に向けて取り組むべき方向性や施策として、次のとおり基本方針を定めます。

基本方針１　誰もが気軽に「そだち・そだてる、する、みる、ささえる」を感じることができる場の創出

- 市民スポーツからプロスポーツまで幅広いスポーツ利用に対応した環境の整備
- トップチームの観戦や応援を通じて、スポーツの楽しさや感動を体感できる「みる」機能の導入
- 市民が日常的にスポーツを取り入れ、多様な世代の健康づくりを支える場の整備

基本方針２　府中の誇りとなる中核的な施設として、多様な活動に柔軟に対応する、フレキシブルな施設整備

- 多様な競技種目や利用形態に対応したスポーツ活動の場の整備
- スポーツ活動に限らず、文化活動やイベントなど、多目的に活用できる諸室や設備の整備
- 天候にかかわらず、市民が快適に健康維持ができる屋内空間の整備
- 誰もが安全・安心に利用できるインクルーシブな環境整備
- 環境負荷の低減に配慮した施設整備

基本方針３　地域や周辺環境のつながりを育み、交流とにぎわいを生み出す地域に開かれた拠点

- 周辺環境との連続性に配慮し、誰もが集える、多様な目的に対応した施設機能の創出
- スポーツ、文化活動を通じて、世代間交流やコミュニティ形成の創出
- 周辺施設と連携し、イベントのない日でも市民が日常的に立ち寄り、交流や活動を楽しめる場の創出

基本方針４　災害時の市民の安全・安心を支える防災拠点

- 災害時に市民が安心して避難できる環境の整備
- 災害時に物資の受入れ、輸送等を行う地域内輸送拠点の整備

第５章　機能・規模・配置等

１　前提条件の把握

新総合体育館の機能･規模･配置等を検討する上で､前提となる条件は次のとおりです。

⑴　生涯学習センターとの機能統合

新総合体育館の整備については､第７次府中市総合計画の重点プロジェクトに対応する主要な取組の一つとして位置付けています。また､適正化計画において重点施策の一つに位置付けており､新たな市民ニーズへの対応のほか､老朽化対策や防災面などの機能強化を図るため､留保地周辺エリアに移転し､生涯学習センターの体育機能を統合するほか､生涯学習センター図書館を複合化する方向性としています。なお､詳細は次のとおりです。

【図表４９　適正化計画における記載内容】

観点	郷土の森総合体育館の取組内容
配置	・　留保地周辺エリアに移転し､生涯学習センターの体育機能を統合します。 ・　府中基地跡地留保地､平和の森公園及び生涯学習センター跡地にまたがるように整備します。
量	・　稼働率の低い相撲場やエアーライフル場の規模等の見直しを検討するなど、規模の適正化を図ります。 ・　新たな機能として､市内トップチームの試合を当該施設で観戦できるよう観客席数などの規模を検討します。 ・　収容人数に見合う観覧者の滞留場所やイベントスペースの確保を図ります。
機能	・　相撲場及びエアーライフル場は､稼働率が低い傾向があることから､多機能化等を検討し、施設の有効活用を図ります。 ・　市内でも民間事業者で多く提供しているトレーニング室の在り方を検討します。 ・　総合的な市民スポーツの拠点となるよう多目的グラウンドを配置し､周辺部との一体的な整備や機能連携を検討します。
運営	・　ＰＦＩや指定管理者制度などの民間活力の導入を検討します。 ・　ネーミングライツやクラウドファンディングなどを導入し､新たな収入の確保を検討します。
観点	生涯学習センター（体育機能）の取組内容
配置	・　体育機能は府中基地跡地留保地周辺エリアに移転する総合体育館と統合します。
機能・空間	・　体育機能は、機能統合の際に、市内でも民間事業者で多く提供しているトレーニング室や､隣接する調布市内で東京都が提供している温水プールの状況を踏まえ、在り方を検討します。

観点	生涯学習センター図書館の取組内容
機能・空間	・　生涯学習センター図書館は、総合体育館との複合化に向け、市民から求められている「静かな空間・話すことができる空間」など、新たな機能・空間を検討します。

出典：府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画

⑵　市民ニーズ

施設の機能･規模については､第２章で示した市民･競技団体等へのアンケート調査、ワークショップ、オープンハウスの結果や、現状の利用状況を踏まえて検討します。

⑶　新総合体育館の配置条件

新総合体育館は、第３章で示した事業予定地内に整備します。施設の詳細な配置については、今後策定を予定している基本計画で定めます。

⑷　基本理念・基本方針との整合

第４章で示した、基本理念の実現を図るとともに、基本方針の具現化を目指し、望ましい施設の機能や規模を検討します。

２　施設機能

新総合体育館に導入する機能について､生涯学習センターとの機能統合による諸室構成の基本的な考え方、導入する機能に求められる検討の視点、市民ニーズから得られた新たな付加価値としての機能について示します。

⑴　諸室構成の基本的な考え方

生涯学習センターとの機能統合に当たり、現総合体育館の諸室構成と生涯学習センターの体育機能及び図書館の諸室構成を照合し､検討の土台となる主な諸室構成として次のとおり整理しました。なお、一部の諸室について、後述の「⑵検討の視点」で検討の考え方を示します。

【図表５０　機能統合による主な諸室構成】

現総合体育館 の主な諸室構成	＋	生涯学習センター の主な諸室構成	＝	検討の土台となる 主な諸室構成	備考※
第１体育室		－		メインアリーナ	(2)ア
第２体育室		体育室		サブアリーナ	
トレーニング室		トレーニング室		トレーニング室	
第１武道場		－		武道場１	(2)イ
第２武道場		－		武道場２	
弓道場		－		弓道場	
エアーライフル場		－		エアーライフル場	
相撲場		－		相撲場	
卓球室		－		卓球室	(2)イ
ミーティングルーム	＋	ミーティング室	＝	ミーティングルーム	
幼児体育室		保育室		キッズスペース	
レクリエーション ホール		フィットネス・ラボ		スタジオ	(2)イ
会議室		－		会議室	
研修室		－		研修室	
－		図書館		図書館	(2)オ
－		温水プール		温水プール	(2)ウ
レストラン		レストラン		飲食スペース	
管理事務室		管理事務室		管理事務室	
－		－		付帯施設	

※備考：後述の「(2)検討の視点」において検討の考え方を示しています。

⑵　検討の視点

ア　「みる」スポーツ機能

新総合体育館では、現総合体育館や生涯学習センターの体育機能に加えて、プロスポーツの観戦や応援を通じて、スポーツの楽しさや感動を体感できる「みる」スポーツ機能を導入します。興行主催者や観客の視点において最適なメインアリーナの形状や仕様について検討するとともに、コンサートやＭＩＣＥ※などの多様なイベントを開催することで新たな魅力や価値を創出し、施設の収益性向上にもつなげます。

メインアリーナの形状や仕様について、主要用途に応じて３つのタイプに分類しました。なお、詳細については、今後策定を予定している基本計画で検討します。

※ＭＩＣＥ：企業等の会議（Meeting）、報奨・研修旅行（Incentive Travel）、国際会議（Convention）、展示会・イベント（Exhibition/Event）の総称

【図表５１　メインアリーナの形状や仕様のタイプ】

アリーナタイプ	①スポーツ利用型	②多目的利用型	③兼用利用型
主要用途	アマチュアスポーツ、プロスポーツ	プロスポーツ、コンサート、ＭＩＣＥ	コンサート、プロスポーツ、ＭＩＣＥ
施設形状	スポーツを「する」空間で競技者視点を重要視した施設形状	スポーツやコンサート等の興行イベントを「みる」空間で来場者・興行者視点を重要視した施設形状	音楽イベントにおいて見切り席が最小限になるよう、劇場のようにステージ位置を固定した施設形状
観客席形状	ロ型観客席	ロ型観客席	U型/扇型観客席
床仕様	木製フローリング床	土間コンクリート（スポーツ利用時は木製ポータブルフロアを設置）	土間コンクリート（スポーツ利用時は木製ポータブルフロアを設置）
主な参考事例	 富士市総合体育館 出典：施設サイト	 ゼビオアリーナ仙台 出典：B.LEAGUE サイト	 横浜 BUNTAI 出典：施設サイト

イ　マルチスペース機能

多様な競技種目によるスポーツ活動や文化活動、イベントなど、幅広い用途に対応可能な諸室や仕様について検討します。効率的かつ効果的な整備を見据え、一部の諸室を「マルチスペース」として集約することで、運営の効率化を図るとともに、利用者の多様なニーズに対して、柔軟に対応できる環境を整備します。

【図表５２　柔軟な諸室や仕様の工夫の参考事例】

横浜武道館 武道場	エスフォルタアリーナ 八王子 会議室・研修室
 多目的な利用を想定した武道場、剣道・柔道・空手・なぎなたの競技それぞれ４面配置可能 出典：施設サイト	 柔軟なサイズ調整ができて、スポーツ利用も想定したフローリング仕様の会議室･研修室 出典：施設サイト

検討の土台となる主な諸室構成において、武道場１・武道場２・卓球室・ミーティングルーム・スタジオ・会議室・研修室については、専用諸室を設けずに「マルチスペース」による効率的な機能提供を行うことを検討します。

また、弓道場･エアーライフル場･相撲場については、競技の特性上、マルチスペース化が難しく、専用諸室が必要となります。半屋外での配置や屋外空間の活用など、配置上の工夫も含めて検討します。

なお、「マルチスペース」の検討イメージとして、次の３つのスペースの考え方を示します。

【図表５３　マルチスペースの検討イメージ】

区　分	用　途	材　質
マルチスペース１	柔道・剣道兼用	スポーツ木床
マルチスペース２	球技・スタジオ・柔道など利用可能	スポーツ木床
マルチスペース３	球技・会議・研修など利用可能（小割可能）	ビニル床

ウ　温水プール機能

生涯学習センターの温水プールについては、一般公開時など多くの市民に利用されています。新総合体育館においても、多様な世代の健康づくりを支える場として、温水プール機能を導入します。

また、近年、市内の市立小・中学校のプールについて、猛暑の影響や施設の老朽化等の観点から、屋内化・集約化を検討しています。今後のプール授業の受入れの可能性を考慮し、新総合体育館に必要な機能として整備します。さらに、講座・教室を行うことで、施設の収益性の向上を図ります。

エ　防災機能

災害時において、現総合体育館の収容可能人数（２，３３９人）を超える規模の避難所として機能するとともに、地域内輸送拠点となることを想定しています。そのため、避難所及び地域内輸送拠点として円滑に機能するための仕様・規模・設備の充実を図ります。災害用トイレ、段ボールベッド、テント、非常食、防災資機材等が十分に収容できる備蓄倉庫を整備します。また、留保地において新たに設置する公園や周辺施設と連携した防災機能の体制を構築します。

オ　図書館機能

新総合体育館と地区図書館である生涯学習センターの複合化により、図書館の機能を導入します。また、適正化計画において示したとおり、市民から求められている「静かな空間」、「話すことができる空間」など、図書館としての新たな機能・空間を検討し、新総合体育館における配置・動線の考え方を整理します。図書館との複合化により、総合体育館が、様々な市民が日常的に立ち寄り、交流や活動を楽しめる地域コミュニティの核となることを目指します。

カ　公園との連続性

新総合体育館の整備に際しては、留保地に新たに設置する公園や周辺の大規模公園等との緑の連続性を確保することで、一体的な緑地空間を創出します。体育館周辺の歩行者動線や公園と親和性の高い諸室の配置など、立地特性を意識した配置計画の検討を行います。

【図表５４　留保地の緑の一体性の考え方】

出典：府中基地跡地留保地及び米軍通信施設跡地利用計画

⑶　新たな付加価値について

新総合体育館の新たな付加価値としての導入機能について、市民へのアンケート調査で得られた意見を基に、想定される附帯施設のイメージを次のとおり示します。

【図表５５　附帯施設のイメージ】

導入機能	参考事例	アンケート結果	導入に向けた方向性、留意点
レストラン、カフェ等の飲食スペース	 京王アリーナＴＯＫＹＯ （武蔵野の森総合スポーツプラザ）	小・中学生 （５１．０％） 一般・保護者 （５６．４％）	・　要望が最も多く、スポーツの好き嫌い問わず、気軽に利用又は交流できる機能としての導入が考えられる。 ・　館内に導入する場合、土日祝日は利用者が多く、収益が見込まれるが、平日は採算が難しい可能性があるため、十分配慮する必要がある。 ・　図書館機能との連携や屋外空間との連携により、採算性が確保できる導入方法を検討する必要がある。
コンビニエンスストア、売店など	 ひがしんアリーナ （墨田区総合体育館）	小・中学生 （５３．６％） 一般・保護者 （４２．７％）	同上
ジム、トレーニングルーム	 北里アリーナ富士 （富士市総合体育館）	小・中学生 （２２．６％） 一般・保護者 （４６．６％）	・　要望が多く、気軽に個人で利用するニーズに対応できる。 ・　スポーツ講座・教室への展開も期待でき、運営収支向上に寄与できる可能性がある。

鏡がついているスタジオ（ダンスルーム・フィットネスルームなど）	 カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）	小・中学生 （１３．９％） 一般・保護者 （１３．２％）	・　市内に民間のフィットネスクラブ等が充実しているためか、要望は少ない。 ・　稼働間仕切りを設け、マルチスペースとして導入することで、災害時も含め、フレキシブルな利用に対応できる。
屋内のランニングコース	 カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）	小・中学生 （１９．２％） 一般・保護者 （１４．８％）	・　小学生の低学年による要望が高い。 ・　導入に向けては、観覧席を取り囲むコンコース空間を有効活用し、走路とすることも考えられる。
着替えたり、荷物を預けたりできるスペース	 カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）	小・中学生 （２５．８％） 一般・保護者 （２９．２％）	・　全体的に要望は高く、特にシニア層の要望が高い。 ・　当該機能を導入することで、新総合体育館を拠点とした活動の促進につながるため、利用動線を踏まえた検討が必要になる。
待ち合わせやひと休みができるスペース	 北里アリーナ富士 （富士市総合体育館）	小・中学生 （３８．７％） 一般・保護者 （２６．１％）	・　小・中学生を含む１０代の要望が高い。 ・　導入に向けては、若者の居場所、利用者が自由に出会い、交流できるよう、エントランスのロビーの活用等、配置計画の検討が必要である。

勉強や読書、会話ができるスペース	 オープンハウスアリーナ太田（太田市総合体育館）	小・中学生（４２．５％） 一般・保護者（２２．４％）	・　小･中学生を含む１０代の要望が高い。 ・　導入に向けては、図書館機能や観覧機能と連携したラウンジ空間としての導入が考えられる。
屋内のキッズスペース（託児機能を含む）	 カクヒログループスーパーアリーナ（青森市総合体育館）	小・中学生（―%） 一般・保護者（１７．４％）	・　２０代･３０代の要望が高く、ファミリー層が気軽に立ち寄ることができる機能として期待することができる。 ・　導入に向けては、未就学児が楽しむことができる空間となることが望ましく、競技スポーツ以外の運動ができる空間としての導入が考えられる。

出典：各施設ホームページ

３　施設規模

新総合体育館の施設規模について、各諸室の規模を検討し、想定される延床面積を次のとおり示します。

⑴　各諸室の規模の設定について

ア　メインアリーナ

「みる」スポーツ機能を導入するためのメインアリーナの規模の検討に当たり、各プロスポーツのリーグ基準における収容人数の条件について整理した内容を次表のとおり示します。規模の検討においては、全てのプロリーグの収容人数の最低基準を満たす規模から、Ｂリーグの最高カテゴリーであるＢ．ＰＲＥＭＩＥＲ（２０２６－２０２７シーズンから新リーグとして開幕予定）の収容人数の基準を満たす５，０００人規模までが想定されます。

【図表５６　各プロスポーツの収容人数に関する条件の整理】

競技種目	リーグ カテゴリー	収容人数	備考	関係規則、ガイドライン等
Ｔリーグ (卓球)	―	２，０００席程度	プレーオフ開催の場合は５，０００～１０，０００席程度	Ｔリーグ規約・規定集
ＳＶリーグ・Ｖリーグ (バレーボール)	ＳＶリーグ （1部相当）	３，０００席以上	２０３０年以降は５，０００席以上	ＳＶリーグ／Ｖリーグ ホームアリーナ検査要項 〔2024-30 シーズン用〕
	Ｖリーグ （2部相当）	７５０席以上	２０３０年以降は２，０００席以上	
Ｂリーグ (バスケットボール)	B.PREMIER	５，０００席以上	代替アリーナ：３，０００席以上	ホームアリーナ検査要項 2026－27 シーズン／ B.LEAGUE ウェブサイト
	B.ONE	３，０００席以上	―	
	B.NEXT	３，０００席以上	―	
Ｆリーグ (フットサル)	―	１，０００席以上	―	日本フットサルリーグ要項
リーグＨ (ハンドボール)	―	１，０００席以上	立見席は除く。	リーグＨ新規加盟要項

本市では、第２次府中市スポーツ推進計画において「スポーツタウン府中の発展」を掲げ、市民がトップチームやアスリートに愛着を持ち、応援しているまちの姿を目指しています。

今後の各リーグ基準の厳格化の可能性やコンサートなどの多様なイベント等における適正な規模の検討を踏まえて、メインアリーナの収容人数の目指すべき想定規模を**５，０００人規模以上**とします。

また、Ｂ．ＰＲＥＭＩＥＲのホームアリーナ基準となる「ホームアリーナ検査要項２０２６－２０２７シーズンＢ．ＰＲＥＭＩＥＲ用」における必要諸室や規模・機能（スイートルームやラウンジ等のＶＩＰホスピタリティ機能や観覧席、音響・照明設備、メディア機能など）を満たすことも視野に入れます。

また、メインアリーナのフロアサイズについては、類似施設の事例を参照し、２，５００平方メートル程度を想定し、各競技のレイアウトのイメージについては、本章「４　施設配置」において示します。

イ　サブアリーナ

現総合体育館の第２体育室(フロア面積:９７１平方メートル)と生涯学習センターの体育室（フロア面積：９１２平方メートル）については、いずれも稼働率が高い状況となっています。

また、競技団体へのアンケート調査において、大会・イベント及び練習用として必要なコートやスペースの広さに関する具体的な要望が寄せられています。

これらの結果を踏まえ、主な競技種目におけるサブアリーナの必要規模について、現施設の規模を考慮しつつ、メインアリーナとの併用も想定した上で、次のとおり示します。

【図表５７　サブアリーナの規模検討の考え方】

競技種目	大会・イベント用	練習用（理想）	練習用（最低限）	規模検討の考え方
フットサル	コート２面	コート１面	コート１面	サブアリーナで１面を確保する規模の検討（約１，１００㎡）
バスケットボール	コート２面	－	コート２面を余裕を持って取れる程度	サブアリーナで２面を確保する規模の検討（約１，４００㎡）
バドミントン	コート１６面（現総合体育館第１・第２体育室）	メイン：１２面 サブ：６面	１６面（市民大会） １０面（総合選手権）	サブアリーナで１０面を確保する規模の検討（約１，２００㎡）
バレーボール	６・９人制コート３面 ジュニアコート３面	男子コート１面、女子コート１面及びフリーゾーン	男子コート１面及びフリーゾーン	サブアリーナで練習用（男子・女子・フリーゾーン)を確保する規模の検討（約１，２００㎡）
ハンドボール	コート３面	コート３面	コート１面	サブアリーナで１面を確保する規模（約１，４００㎡）

サブアリーナのフロアサイズについては、各競技団体の要望を満たす最小値として、ハンドボール１面・バスケットボール２面を配置可能な面積・縦横比としての規模（１，４００～１，５００平方メートル程度）を前提として、今後観覧席数を含めた詳細検討を行います。各競技のレイアウトのイメージについては、本章「４　施設配置」において示します。

ウ　トレーニング室

トレーニング室については、現総合体育館と生涯学習センターのそれぞれに諸室として設置しています。なお、トレーニング室の機能については、それぞれの利用状況に基づき、適切な機能・規模の設定を行いますが、適正化計画において、市内でも民間事業者が多く提供している状況を受けて、在り方を検討する方向性を示しています。このことを踏まえ、民間事業者による整備を検討するなど、機能分担を図り、最適なトレーニング室の在り方について検討します。

エ　マルチスペース

マルチスペースについては、武道場１・武道場２・卓球室・ミーティングルーム・スタジオ・会議室・研修室などを想定し、先進事例を参照しつつ、適切な機能・規模の設定を行います。

また、弓道場、エアーライフル場、相撲場など、汎用性の低い競技専用諸室については、現状の利用状況や市民ニーズを総合的に踏まえながら、半屋外での配置や屋外空間の活用、諸室の簡素化などを含め、今後、諸室の在り方について検討します。

オ　キッズスペース

キッズスペースについては、主に２０代・３０代のファミリー層から多くの要望が見られました。先進事例を参照しつつ、適切な機能・規模の設定を行います。

カ　温水プール

温水プールについては、既存の生涯学習センター温水プールの規模（大プール・小プール）を前提としつつ、多様な世代の健康づくりを支える場として、また、市内小・中学校のプール授業受入れの可能性を考慮し、適切な機能・規模の設定を行います。

キ　図書館

図書館については、既存の生涯学習センター図書館（地区図書館）の規模を前提としつつ、新総合体育館との併設等による特色をいかし、適切な機能・規模の設定を行います。

⑵　想定延床面積について

新総合体育館の各諸室の規模の設定を踏まえ、各諸室の概算面積を次のとおり試算しました。

なお、施設規模を簡易的に試算すると、想定延床面積は２５，０００平方メートルから２８，０００平方メートルまでとなります。

【図表５８　各諸室の概算面積について】

諸室構成イメージ	概算面積等
メインアリーナ	フロア面積：２，５００㎡程度 収容人数：５，０００人規模以上 ＶＩＰホスピタリティ機能など
サブアリーナ	フロア面積：１，４００～１，５００㎡
トレーニング室	４００㎡程度
マルチスペース１	５００㎡程度
マルチスペース２	５００㎡程度
マルチスペース３	２００㎡程度
キッズスペース	１００～２００㎡程度
温水プール	１，０００㎡程度
その他諸室	０～２，０００㎡程度
図書館	５００㎡程度
共用部分等	－

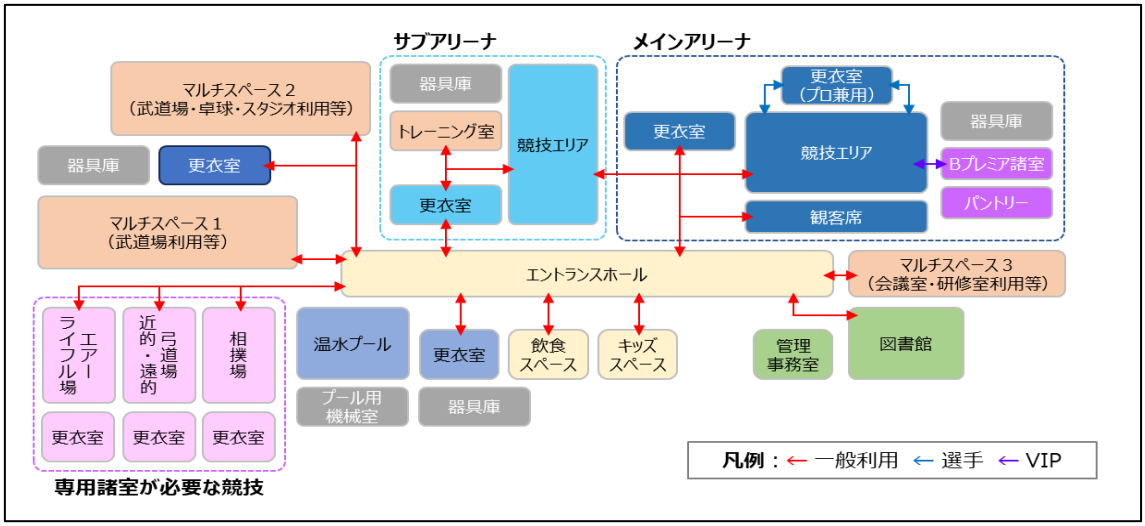
４　施設配置

新総合体育館の施設配置については、諸室構成や規模の方向性を整理した上で、今後、詳細検討を行います。基本構想においては、次のとおり各諸室の機能相関図並びにメインアリーナ及びサブアリーナのフロアレイアウト図により規模のイメージを示します。

⑴　機能相関図

各諸室の動線や接続、位置関係の考え方を示す機能相関図を次のとおり示します。なお、機能相関図は現時点のイメージであり、今後変更する可能性があります。

【図表５９　機能相関図】

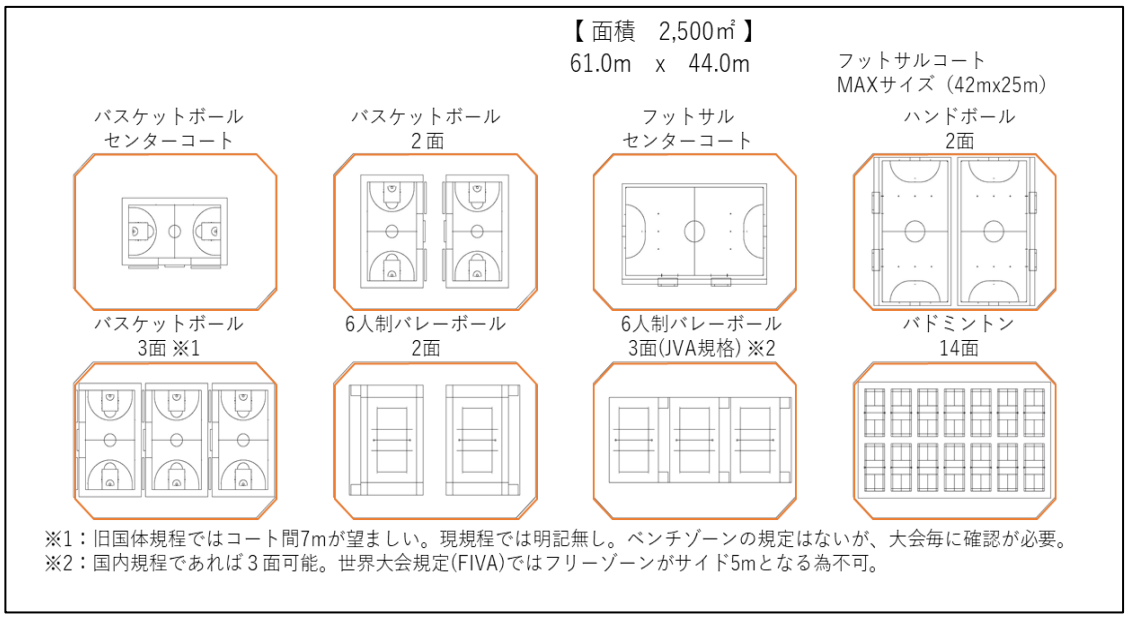


⑵　フロアレイアウトのイメージ

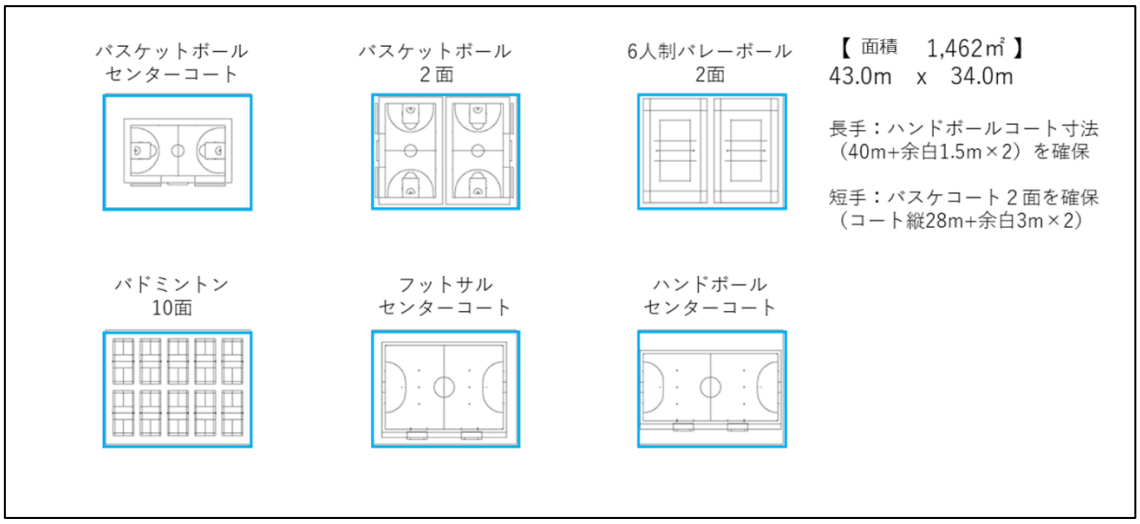
本章「３　施設規模」において示したメインアリーナとサブアリーナの想定規模について、それぞれのフロアレイアウト図を次のとおり示します。

【図表６０　メインアリーナとサブアリーナのフロアレイアウト】

メインアリーナ（２，５００平方メートル程度）



サブアリーナ（１，４００～１，５００平方メートル）



第６章　事業手法

１　事業手法の抽出

新総合体育館の整備については、従来手法に加え、ＰＰＰ／ＰＦＩ手法導入の可能性を踏まえて検討します。

ＰＰＰは、従来は公共が実施してきた公共施設等の設計、施工、維持管理、運営等を民間の経営能力及び技術的能力を活用して効率的かつ効果的に実施する事業手法のことです。ＰＦＩは、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（ＰＦＩ法）に基づいた手続により事業者選定を行うものであり、公共と民間が連携して公共サービスの提供を行うことで、民間の創意工夫・技術力・資金を活用し、財政資金の効率的使用や行政の効率化等を図る手法です。なお、ＰＦＩはＰＰＰの一形態として位置付けられています。

⑴　各事業方式の概要

【図表６１　主な事業方式の概要】

事業方式		概要
従来方式		・　設計、施工、維持管理、運営それぞれ分割発注する方式
ＰＰＰ	ＤＢＯ方式 (Design Build Operate)	・　設計、施工、維持管理、運営を一体的に発注する方式 ・　設計、施工、維持管理、運営までを一つの事業体（ＪＶ)が実施するが、各業務の契約は個別に行う。 ・　異なる業種の民間事業者がＪＶを組成して連携することによって、効率化や創意工夫を引き出すことが期待できる。 ・　資金調達は公共が行う。
ＰＦＩ	ＢＴＯ方式 (Build Transfer Operate)	・　設計、施工、維持管理、運営を一体的に発注する方式 ・　民間事業者が設計・施工(Build)し、完成後、施設の所有権を公共へ移転(Transfer)する。公共への所有権移転後、民間事業者は運営(Operate)を行う。 ・　ＰＦＩ手法の中で、最も多く採用されている。 ・　公租公課（不動産取得税、固定資産税等）が発生しないため、他のＰＦＩ手法より財政負担が小さい。 ・　資金調達を民間事業者に委ねることが可能であるが、金利を考慮して公共が資金調達する場合もある。 ・　ＤＢＯ方式と異なり、契約は一括契約である。また、民間事業者は特別目的会社（ＳＰＣ）を組成することが多い。

ＰＦＩ	ＢＯＴ方式 (Build Operate Transfer)	・　設計、施工、維持管理、運営を一体的に発注する方式 ・　民間事業者が設計・施工(Build)し、完成後も施設の所有権を保有したまま運営(Operate)を行う。運営も含めた事業期間終了後､所有権を公共へ移転(Transfer)する｡公共への所有権移転のタイミングがＢＴＯ方式と異なる。 ・　公租公課（不動産取得税、固定資産税等）が発生し､財政負担が増加するため､指定管理者制度導入以降においては､採用されることが少なく､導入メリットが限定的と整理されることが多い。
	ＢＯＯ方式 (Build Own Operate)	・　設計、施工、維持管理、運営を一体的に発注する方式 ・　民間事業者が設計・施工(Build)し、完成後施設の所有権を得たまま(Own)､施設の運営(Operate)を行う。事業終了後は施設の所有権を公共に移転せず、民間事業者がそのまま保有もしくは撤去する。公共に所有権が移転しない点で､ＢＴＯ方式やＢＯＴ方式と異なる。 ・　事業終了後においても、公共が所有しないため､一般的な公共施設には馴染まず､民間事業としての性質が強い施設（カフェ、レストラン等）に採用される。公共が所有すべきでない施設の整備・運営の実施を、民間事業者に義務付ける場合に採用する。
	コンセッション （公共施設等運営権）	・　施設の運営部分に特化したもので､公共施設等運営権事業という。 ・　利用料金収入によって､高い収益性が安定的に期待される事業について､その施設を｢運営する権利｣を民間事業者へ付与する。民間事業者は、事業期間中に得られる将来期待収益に基づき、公共に「運営権対価」を支払う。 ・　安定的な利用料金収入が得られるインフラ系公共施設（空港、道路、上下水道等）に用いられることが多い。 ・　「ＢＴ＋コンセッション」のように、整備段階から運営段階まで同一事業者に委ねることが多い。

⑵　各事業方式の公共と民間の役割分担

各事業方式における公共と民間の役割分担は、次のとおりです。

【図表６２　主な事業方式の公共と民間の役割分担】

事業方式	資金調達	設計施工	所有 （施工時）	所有 （運営時）	所有 （運営後）	維持管理 運営
従来方式	公共	公共	公共	公共	公共	公共
ＤＢＯ方式	公共	民間	公共	公共	公共	民間
ＢＴＯ方式	民間／ 公共	民間	民間	公共	公共	民間
ＢＯＴ方式	民間／ 公共	民間	民間	民間	公共	民間
ＢＯＯ方式	民間	民間	民間	民間	民間	民間
ＢＴ＋ コンセッション	民間／ 公共	民間	民間	公共	公共	民間

⑶　Ｐａｒｋ－ＰＦＩ（公募設置管理制度）

Ｐａｒｋ－ＰＦＩ（公募設置管理制度）は、都市公園法第５条の２から５までに基づき、飲食店、売店等の収益施設（公募対象公園施設）の設置・管理と、その収益を活用して、周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備・改修を一体的に行う事業者を、公募により選定する制度です。なお、ＰＦＩ法に基づくものではありません。

民間事業者は、公募設置等計画（都市公園法第５条の３の規定に基づき、Ｐａｒｋ－ＰＦＩに応募する民間事業者等が公園管理者に提出する計画）及び基本協定等に基づき、自らの資金で公募対象公園施設と特定公園施設を整備し、特定公園施設の整備・改修費の一部を負担します（公募時の要件次第で、特定公園施設の整備・改修費を全額事業者負担とすることも可能です。）。

民間事業者は、公募設置等計画で記載した使用料を市に支払いつつサービスの提供を行い、利用料金の対価を得ます。

民間事業者へのインセンティブとしては、許可期間を最長２０年に設定することができることや、公募対象公園施設として便益施設に対する建ぺい率の上乗せの特例が適用できること、自転車駐輪場、看板等が占用物件として設置できることが挙げられます。

【図表６３　Ｐａｒｋ－ＰＦＩのイメージ】

出典：「都市公園の質の向上に向けた Park-PFI 活用ガイドライン（平成 29 年８月 10 日）」（国土交通省 都市局 公園緑地・景観課）

⑷　各事業方式の採用の考え方

各事業方式を採用する際の判断事項を踏まえ、本事業で採用する可能性がある事業方式を選定しました。

【図表６４　各事業方式を採用する際の判断事項と考察】

事業方式	採用する際の判断事項	考察
従来方式	複数業務を一括発注する場合に民間事業者の参入が期待できない場合、施設の構造や材料等の詳細な仕様が決定可能で入札による低価格で実施したい場合、公共の意向を強く反映したい場合に採用する方式	○ＰＰＰ／ＰＦＩ手法を採用した場合に民間事業者の参入可能性があるか現時点では不透明であるため、検討対象とする。
ＤＢＯ方式	設計から運営まで一括で民間事業者に委ねたいものの、ＰＦＩ法にのっとらずに事業を実施したい場合（ＳＰＣの設立が必須ではないなど）に採用する方式	○民間事業者がコスト等の観点から、ＳＰＣの設立を望まない可能性もあるため、検討対象とする。
ＢＴＯ方式	設計から運営まで一括で民間事業者に委ねたい場合で、民間事業者に事業全体のマネジメントも含めて依頼したい場合、かつ公租公課（固定資産税等）を軽減する場合に採用する方式 なお、金利の観点から公共が資金調達するか民間が資金調達するかは検討の余地がある。	○最も一般的なＰＦＩ手法であり、国内のスポーツ施設の整備・改修をＰＰＰ／ＰＦＩ事業で行った事例の中でも最も採用実績があるため、検討対象とする。
ＢＯＴ方式	設計から運営まで一括で民間事業者に委ねたい場合で、施設の修繕や改修など柔軟に民間事業者主体で運営維持（独立採算）することを期待する場合に採用する方式	×公租公課が発生すること、通常利用としては主に市民利用が想定されることから、導入メリットが少なく、検討の余地は低い。よって、検討対象外とする。
ＢＯＯ方式	公共が所有するには馴染まない施設の整備・運営の実施を、民間事業者に義務付ける場合に採用する方式	×新総合体育館は公共施設として整備するため、検討の余地は低い。よって、検討対象外とする。

ＢＴ＋ コンセッション	設計から運営まで一括で民間事業者に委ねたい場合で、大規模な興行等により安定的かつ収益性の高い事業を見込むことができる場合に採用する方式	○スポーツ観戦等のイベントをどの程度誘致するか次第ではあるが、可能性としては残るため、検討対象とする。
Ｐａｒｋ－ＰＦＩ	都市公園内に公園施設として整備する場合、公園部分と施設部分を一体的な事業とする場合に採用する方式	○新総合体育館は都市公園内に設置する想定であること、公園部分との一体的な運営が望ましいことから、検討対象とする。

２　事業手法の特性比較

新総合体育館の整備に当たり、検討対象とした事業方式の特性について、次のとおり示します。

【図表６５　検討対象とした事業方式における特性比較】

事業方式	従来方式	ＤＢＯ方式	ＢＴＯ方式	ＢＴ ＋コンセッション	Ｐａｒｋ－ＰＦＩ
概要	設計、施工、維持管理、運営を分割発注する方式	設計、施工、維持管理、運営を一体的に発注する方式	設計、施工、維持管理、運営を一体的に発注する方式。資金調達も委ねる場合がある。	完成後の施設は市が所有するが、設計、施工、維持管理、運営の全てを民間に委ねる方式。民間に運営権を委ね、民間から市に運営権対価を支払う。	飲食店、売店等の収益施設（公募対象公園施設）の設置・管理と、その収益を活用して、周辺の園路、広場等の特定公園施設の整備・改修を一体的に行う事業者を、公募により選定する方式。
発注形態	仕様発注	性能発注	性能発注	性能発注	性能発注
運営維持方法	直営又は指定管理者制度	指定管理者制度	指定管理者制度	コンセッション	Ｐａｒｋ－ＰＦＩ
メリット	・　設計、施工、維持管理及び運営の全ての段階において市に主導権があるため、都度市の意向を反映させやすい。 ・　市にとって最も経験がある手法である。	・　民間活力を発揮する余地がある。 ・　民間のノウハウを活用することでコスト削減が可能となる。 ・　一括発注によりコスト低減が見込める。	・　民間活力を発揮する余地がある。 ・　民間のノウハウを活用することでコスト削減が可能となる。 ・　一括発注によりコスト低減が見込める。 ・　ＰＦＩ法に基づく手続が定型化しており、事例も多数ある。	・　民間活力を発揮する余地がある。 ・　民間のノウハウを活用することでコスト削減が可能となる。 ・　一括発注によりコスト低減が見込める。 ・　運営を民間に委ねることで、民間にとって、運営の効率化や工夫を行うインセンティブが大きくなる。	・　民間資金を活用することで、公園整備や維持管理に係るコストの削減が期待できる。 ・　都市公園法に基づく施設の設置管理許可又はＰａｒｋ－ＰＦＩによる収益施設（民設民営）を整備することで、公園利用者の利便性向上や財政負担の軽減が期待できる。
デメリット	・　民間活力を発揮する余地が小さい。	・　実施方針の策定や民間事業者の募集、評価、選定等に専門的知識が必要となる。契約手続等にもノウハウが必要である。	・　民間に資金調達を委ねる場合、金利コストがかさむ。 ・　ＳＰＣの設立費用が必要になる。 ・　ＰＦＩ法による実施方針の策定、特定事業の評価や選定、公表等に専門的な知識が必要となる。契約手続等にもノウハウが必要である。	・　金利コストがかさむ。 ・　ＳＰＣの設立費用が必要になる。 ・　ＰＦＩ法による実施方針の策定、特定事業の評価や選定、公表等に専門的な知識が必要となる。契約手続等にもノウハウが必要である。 ・　運営を民間に委ねるため、市の意見を反映させることは難しい。	・　新総合体育館の建築面積により建ぺい率の余剰がない場合には、収益施設の設置が困難となるため、Ｐａｒｋ－ＰＦＩ方式の導入によるメリットは十分に発揮されにくい。

３　事業費確保の方針

事業費については、近年の人件費や建設費の高騰による社会情勢、新総合体育館の具体的な規模や利用用途（想定するプロスポーツや音楽コンサート興行等の需要）が定まっていない現段階において、試算することは困難な状況です。

しかしながら、新総合体育館の整備に向けて、今後の財政計画を立案していく上で事業費の試算とその確保をしていく必要があります。

事業費の算出に当たっては、新総合体育館に求められる役割や導入機能をもとに適正な規模を設定し、需要調査等を踏まえた利用用途を見込んだ上で、事業方式の検討と合わせて基本計画において定めます。

また、本市の財政負担を可能な限り抑制するために、国からの交付金や新総合体育館の収益の一部を財源に見込む等の制度設計を行い、事業費の確保に向けた検討を進めます。

第７章　管理運営方法

１　管理・運営の基本的な考え方

新総合体育館の管理・運営においては、主に次の６つの視点を管理・運営の基本的な考え方とします。

⑴　持続可能な施設運営

スポーツ庁が提唱するスタジアム･アリーナ改革に基づき､新総合体育館はプロフィットセンターとして位置付け、持続可能で魅力ある施設運営を目指します。スポーツ・文化イベントの開催に加え、民間との連携による収益事業の展開、諸室の集約化・多機能化、稼働率及び利用者の利便性の向上に取り組みます。

⑵　あらゆる世代の多様なニーズに対応した魅力とにぎわいのある運営

未就学児から高齢者まで､幅広い世代が気軽に健康維持やスポーツ競技等に親しむことができるよう、利用者の多様なニーズに対応した機能を整備します。あわせて、若者の居場所づくりやスポーツ講座・教室の開催なども含め、イベントやプログラムによる魅力とにぎわいある運営が実現できる仕組みを検討します。

⑶　民間ノウハウの活用検討

新総合体育館の整備においては、設計・施工から維持管理・運営までを一括発注するＰＰＰ／ＰＦＩ手法などの民間活力を導入することで､事業の効率化が図られるとともに､設計段階から維持管理･運営を考慮した検討がなされることから､質の高い行政サービスの提供を実現することが期待できます｡今後は､民間事業者の意向を確認しながら、ＰＰＰ／ＰＦＩ手法の導入可能性について検討していきます。

⑷　環境に配慮した施設運営

太陽光発電システム等の環境配慮型の設備や機能を導入し､省エネルギー化を推進するとともに、施設のＺＥＢ化を検討します。なお、導入に当たっては、施設の特性を踏まえ、費用対効果を検討した上で最適な設備・機能を選定します。

⑸　予防保全を取り入れた維持管理による施設の長寿命化

新総合体育館の維持管理においては、ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）の縮減及び財政負担の平準化を図るため、事後保全ではなく、予防保全の考え方を取り入れた維持管理を基本とし、施設の長寿命化を目指します。

⑹　災害時でも安全・安心な施設機能を維持することができる運営

災害時でも安全･安心を確保し、本市の防災力を強化するため、避難所としての機能を充実させるとともに、地域内輸送拠点として活用可能な防災拠点を目指します｡施設運営においては、平常時・災害時を問わず、誰もが利用しやすい施設機能と運営体制の構築を検討します。

第８章　事業スケジュール

１　事業スケジュール

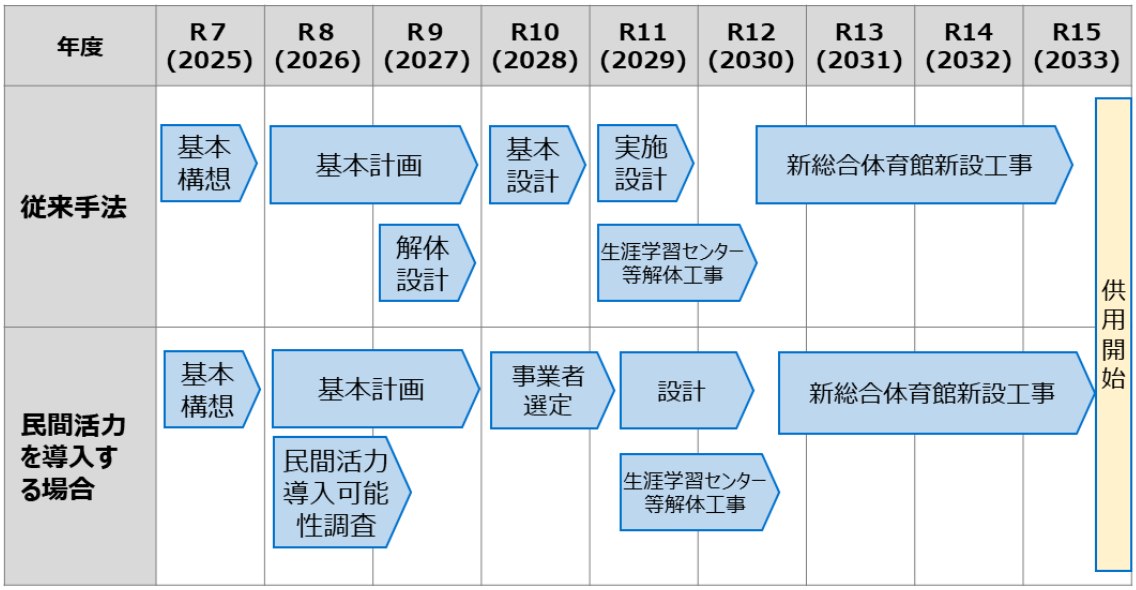
基本構想段階における、今後の事業スケジュールは次のとおりです。

令和８年度から令和９年度までにかけて、基本構想に基づき、新総合体育館の具体的な機能、事業手法、想定事業費等を示した基本計画を策定します。

基本計画の策定後は、事業手法の検討結果に基づき、ＰＦＩ手法など民間活力を導入する場合は、事業者選定に向けた手続を進めます。一方で、従来方式を採用する場合は、基本設計・実施設計を行い、令和１５年度中の供用開始を目指します。

なお、本事業は事業予定地の計画と並行して進める必要があるため、事業予定地の状況を踏まえ、適宜調整を図りながら検討を進めていきます。

【図表６６　想定される今後の事業スケジュール】



２　今後の検討事項

基本構想を踏まえ、次年度以降に着手する基本計画では、具体的な施設規模や導入する機能・設備の詳細、周辺環境への影響、最適な事業手法等について検討していきます。検討に当たっては、市民や競技団体との対話を重ねるとともに、民間事業者等からの意見も踏まえながら、幅広い視点で計画の具体的な内容を取りまとめていきます。

なお、今後、必要となる主な検討事項は次のとおりです。

【図表６７　主な検討事項】

主な検討事項	検討内容
整備範囲の設定	・　新総合体育館は、公園内に整備することから、都市公園法等の関係法令の整理を行うとともに、公園や駐車場、多目的グラウンド等も整備範囲に含めた上で検討します。 ・　公園や新総合体育館の屋外空間を活用し、３人制バスケットボール専用コートを始めとするアーバンスポーツの導入についても検討します。 ・　駐車場については、敷地の有効活用の観点から、地下駐車場や立体駐車場の可能性も含めて検討します。
図書館機能との連携	・　図書館機能を併設することによる特色をいかし、所蔵図書の貸出機能だけでなく、会話や飲食が可能な読書空間の提供など、新たな機能も検討します。
周辺環境への影響	・　イベント興行時には多くの来場者が見込まれることから、渋滞等による周辺交通への影響を把握する必要があります。あわせて、交通利便性の向上を図るため、来場者の交通アクセスの充実に向けた方策を検討します。 ・　新総合体育館の利用用途に応じて、騒音や振動等の周辺環境への影響が懸念されるため、その影響を把握し、適切な対応策を検討します。
利用意向（需要）の把握	・　利用用途別の年間利用日数（稼働率）を把握するため、将来的な需要も見据えつつ、プロスポーツ団体や音楽興行のプロモーター等への聞き取り調査を実施します。 ・　聞き取り調査の結果を基本計画に反映し、見込まれる年間収入額を試算します。
財政負担額の算出	・　新総合体育館に係る設計・施工・維持管理・運営等の支出、及び利用料金等の収入を踏まえ、財政負担額を算出します。 ・　民間の資金やノウハウを活用した事業方式の導入を視野に入れ、貸館収入以外の収益確保策や、公園利用と一体的に開発することによる収益事業の可能性について、民間事業者へのサウンディング調査等を通じて検討を行い、本市の財政負担の軽減を図ります。

防災機能の検討	・　新総合体育館の整備に合わせて、備蓄する防災備品や倉庫の規模など、具体的な防災機能やその仕様について検討します。 ・　導入する防災機能が効果的に発揮されるよう、運用体制等のソフト面についても併せて検討します。

資料編

資料１　市民ニーズ調査結果（本編以外の回答内容）

１　小・中学生（学年別）

⑴　運動やスポーツをする場面について

【図表１　運動やスポーツをする場面について（学年別）】

		合計	学校のクラブ・部活動①	学校以外のクラブ・スクール・ならいごと②	上の①、②以外で家族や友達をさそってする	上の①、②以外で家族や友達にさそわれてする	しない	その他
合計	n	1,072	244	445	128	110	86	59
	%		22.8	41.5	11.9	10.3	8.0	5.5
小学校１・２年生	n	207	8	129	29	17	20	4
	%		3.9	62.3	14.0	8.2	9.7	1.9
小学校３・４年生	n	238	26	124	36	23	10	19
	%		10.9	52.1	15.1	9.7	4.2	8.0
小学校５・６年生	n	257	45	126	34	26	11	15
	%		17.5	49.0	13.2	10.1	4.3	5.8
中学校１年生	n	173	81	37	9	17	16	13
	%		46.8	21.4	5.2	9.8	9.2	7.5
中学校２年生	n	78	40	10	5	9	10	4
	%		51.3	12.8	6.4	11.5	12.8	5.1
中学校３年生	n	119	44	19	15	18	19	4
	%		37.0	16.0	12.6	15.1	16.0	3.4

⑵　運動やスポーツをする場所について

【図表２　運動やスポーツをする場所について（学年別）】

		合計	屋外（公園、学校の校庭、府中市の屋外の施設、民間の屋外の施設）	屋内（学校の体育館、府中市の屋内の施設、民間の屋内の施設）	自分の家の近く	自分の家の中	しない	その他
合計	n	1,072	514	318	108	33	61	38
	%		47.9	29.7	10.1	3.1	5.7	3.5
小学校１・２年生	n	207	77	62	39	11	14	4
	%		37.2	30.0	18.8	5.3	6.8	1.9
小学校３・４年生	n	238	118	64	33	2	7	14
	%		49.6	26.9	13.9	0.8	2.9	5.9
小学校５・６年生	n	257	140	76	15	6	10	10
	%		54.5	29.6	5.8	2.3	3.9	3.9
中学校１年生	n	173	89	51	10	6	10	7
	%		51.4	29.5	5.8	3.5	5.8	4.0
中学校２年生	n	78	35	29	3	4	6	1
	%		44.9	37.2	3.8	5.1	7.7	1.3
中学校３年生	n	119	55	36	8	4	14	2
	%		46.2	30.3	6.7	3.4	11.8	1.7

⑶　悪天候時に運動やスポーツをする場所

【図表３　悪天候時に運動やスポーツをする場所（学年別）】

		合計	木陰や屋根のある場所がある公園	府中市の運動ができる屋内の施設	民間の運動ができる屋内の施設	自分の家の中	ふだんと同じの屋外の場所(公園や学校のグラウンド)	天気が悪い日には、運動やスポーツをしない	しない	その他
合計	n	1,072	38	187	57	217	82	249	181	61
	%		3.5	17.4	5.3	20.2	7.6	23.2	16.9	5.7
小学校１・２年生	n	207	8	35	17	45	15	53	33	1
	%		3.9	16.9	8.2	21.7	7.2	25.6	15.9	0.5
小学校３・４年生	n	238	12	39	10	52	18	44	38	25
	%		5.0	16.4	4.2	21.8	7.6	18.5	16.0	10.5
小学校５・６年生	n	257	8	49	18	54	20	67	30	11
	%		3.1	19.1	7.0	21.0	7.8	26.1	11.7	4.3
中学校１年生	n	173	7	24	8	38	14	39	29	14
	%		4.0	13.9	4.6	22.0	8.1	22.5	16.8	8.1
中学校２年生	n	78	2	13	1	14	5	19	19	5
	%		2.6	16.7	1.3	17.9	6.4	24.4	24.4	6.4
中学校３年生	n	119	1	27	3	14	10	27	32	5
	%		0.8	22.7	2.5	11.8	8.4	22.7	26.9	4.2

⑷　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た回数

【図表４　直近１年間におけるスポーツ観戦の回数（学年別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	1,072	171	87	203	255	338	18
	%		16.0	8.1	18.9	23.8	31.5	1.7
小学校１・２年生	n	207	22	23	34	60	66	2
	%		10.6	11.1	16.4	29.0	31.9	1.0
小学校３・４年生	n	238	47	18	45	61	59	8
	%		19.7	7.6	18.9	25.6	24.8	3.4
小学校５・６年生	n	257	49	22	52	51	82	1
	%		19.1	8.6	20.2	19.8	31.9	0.4
中学校１年生	n	173	34	10	34	36	56	3
	%		19.7	5.8	19.7	20.8	32.4	1.7
中学校２年生	n	78	3	5	16	16	35	3
	%		3.8	6.4	20.5	20.5	44.9	3.8
中学校３年生	n	119	16	9	22	31	40	1
	%		13.4	7.6	18.5	26.1	33.6	0.8

【図表５　直近１年間におけるコンサート鑑賞の回数（学年別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	1,072	34	46	153	415	402	22
	%		3.2	4.3	14.3	38.7	37.5	2.1
小学校１・２年生	n	207	7	11	31	68	85	5
	%		3.4	5.3	15.0	32.9	41.1	2.4
小学校３・４年生	n	238	12	15	39	80	88	4
	%		5.0	6.3	16.4	33.6	37.0	1.7
小学校５・６年生	n	257	3	7	44	116	82	5
	%		1.2	2.7	17.1	45.1	31.9	1.9
中学校１年生	n	173	7	5	18	67	71	5
	%		4.0	2.9	10.4	38.7	41.0	2.9
中学校２年生	n	78	3	2	13	36	22	2
	%		3.8	2.6	16.7	46.2	28.2	2.6
中学校３年生	n	119	2	6	8	48	54	1
	%		1.7	5.0	6.7	40.3	45.4	0.8

⑸　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た場所

【図表６　直近１年間におけるスポーツ観戦の場所（学年別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	みていない	複数回答
合計	n	1,072	226	326	72	389	59
	%		21.1	30.4	6.7	36.3	5.5
小学校１・２年生	n	207	51	47	19	87	3
	%		24.6	22.7	9.2	42.0	1.4
小学校３・４年生	n	238	74	70	11	72	11
	%		31.1	29.4	4.6	30.3	4.6
小学校５・６年生	n	257	44	90	24	84	15
	%		17.1	35.0	9.3	32.7	5.8
中学校１年生	n	173	28	51	8	68	18
	%		16.2	29.5	4.6	39.3	10.4
中学校２年生	n	78	12	22	4	35	5
	%		15.4	28.2	5.1	44.9	6.4
中学校３年生	n	119	17	46	6	43	7
	%		14.3	38.7	5.0	36.1	5.9

【図表７　直近１年間におけるコンサート鑑賞の場所（学年別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	みていない	複数回答
合計	n	1,072	264	229	82	459	38
	%		24.6	21.4	7.6	42.8	3.5
小学校１・２年生	n	207	52	22	26	104	3
	%		25.1	10.6	12.6	50.2	1.4
小学校３・４年生	n	238	83	34	14	101	6
	%		34.9	14.3	5.9	42.4	2.5
小学校５・６年生	n	257	60	85	19	86	7
	%		23.3	33.1	7.4	33.5	2.7
中学校１年生	n	173	35	36	12	80	10
	%		20.2	20.8	6.9	46.2	5.8
中学校２年生	n	78	13	25	5	27	8
	%		16.7	32.1	6.4	34.6	10.3
中学校３年生	n	119	21	27	6	61	4
	%		17.6	22.7	5.0	51.3	3.4

２　小・中学生（運動やスポーツの好き嫌い別）

⑴　運動やスポーツをする場面

【図表８　運動やスポーツをする場面（運動やスポーツの好き嫌い別)】

		合計	学校のクラブ･部活動 ①	学校以外のクラブ・スクール・ならいごと ②	上の①､②以外で家族や友達をさそってする	上の①､②以外で家族や友達にさそわれてする	しない	その他
合計	n	1,072	244	445	128	110	86	59
	%		22.8	41.5	11.9	10.3	8.0	5.5
好き	n	669	159	335	82	48	19	26
	%		23.8	50.1	12.3	7.2	2.8	3.9
どちらかといえば好き	n	259	58	84	40	42	18	17
	%		22.4	32.4	15.4	16.2	6.9	6.6
どちらかといえばきらい	n	98	20	21	6	17	22	12
	%		20.4	21.4	6.1	17.3	22.4	12.2
きらい	n	46	7	5	0	3	27	4
	%		15.2	10.9	0.0	6.5	58.7	8.7

⑵　運動やスポーツをする場所

【図表９　運動やスポーツをする場所（運動やスポーツの好き嫌い別)】

		合計	屋外（公園､学校の校庭､府中市の屋外の施設､民間の屋外の施設)	屋内(学校の体育館､府中市の屋内の施設､民間の屋内の施設)	自分の家の近く	自分の家の中	しない	その他
合計	n	1,072	514	318	108	33	61	38
	%		47.9	29.7	10.1	3.1	5.7	3.5
好き	n	669	369	193	57	18	10	22
	%		55.2	28.8	8.5	2.7	1.5	3.3
どちらかといえば好き	n	259	108	84	38	7	12	10
	%		41.7	32.4	14.7	2.7	4.6	3.9
どちらかといえばきらい	n	98	28	33	12	5	14	6
	%		28.6	33.7	12.2	5.1	14.3	6.1
きらい	n	46	9	8	1	3	25	0
	%		19.6	17.4	2.2	6.5	54.3	0.0

⑶　悪天候時に運動やスポーツをする場所

【図表１０　悪天候時に運動やスポーツをする場所（運動やスポーツの好き嫌い別)】

		合計	木陰や屋根のある場所がおおい公園	府中市の運動ができる屋内の施設	民間の運動ができる屋内の施設	自分の家の中	ふだんと同じ屋外の場所（公園や学校のグラウンド）	天気が悪い日には、運動やスポーツをしない	しない	その他
合計	n	1,072	38	187	57	217	82	249	181	61
	%		3.5	17.4	5.3	20.2	7.6	23.2	16.9	5.7
好き	n	669	32	136	47	147	66	147	49	45
	%		4.8	20.3	7.0	22.0	9.9	22.0	7.3	6.7
どちらかといえば好き	n	259	5	46	6	49	13	71	58	11
	%		1.9	17.8	2.3	18.9	5.0	27.4	22.4	4.2
どちらかといえばきらい	n	98	1	3	4	17	3	22	46	2
	%		1.0	3.1	4.1	17.3	3.1	22.4	46.9	2.0
きらい	n	46	0	2	0	4	0	9	28	3
	%		0.0	4.3	0.0	8.7	0.0	19.6	60.9	6.5

⑷　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た回数

【図表１１　直近１年間におけるスポーツ観戦の回数（運動やスポーツの好き嫌い別)】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	1,072	171	87	203	255	338	18
	%		16.0	8.1	18.9	23.8	31.5	1.7
好き	n	669	150	73	139	145	147	15
	%		22.4	10.9	20.8	21.7	22.0	2.2
どちらかといえば好き	n	259	14	11	47	79	107	1
	%		5.4	4.2	18.1	30.5	41.3	0.4
どちらかといえばきらい	n	98	4	3	11	23	55	2
	%		4.1	3.1	11.2	23.5	56.1	2.0
きらい	n	46	3	0	6	8	29	0
	%		6.5	0.0	13.0	17.4	63.0	0.0

【図表１２　直近１年間におけるコンサート鑑賞の回数（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	1,072	34	46	153	415	402	22
	%		3.2	4.3	14.3	38.7	37.5	2.1
好き	n	669	21	32	90	230	281	15
	%		3.1	4.8	13.5	34.4	42.0	2.2
どちらかといえば好き	n	259	6	12	41	111	85	4
	%		2.3	4.6	15.8	42.9	32.8	1.5
どちらかといえばきらい	n	98	4	2	15	50	24	3
	%		4.1	2.0	15.3	51.0	24.5	3.1
きらい	n	46	3	0	7	24	12	0
	%		6.5	0.0	15.2	52.2	26.1	0.0

⑸　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た場所

【図表１３　直近１年間におけるスポーツ観戦の場所（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	みていない	複数回答
合計	n	1,072	226	326	72	389	59
	%		21.1	30.4	6.7	36.3	5.5
好き	n	669	144	246	54	180	45
	%		21.5	36.8	8.1	26.9	6.7
どちらかといえば好き	n	259	57	56	13	124	9
	%		22.0	21.6	5.0	47.9	3.5
どちらかといえばきらい	n	98	21	17	5	51	4
	%		21.4	17.3	5.1	52.0	4.1
きらい	n	46	4	7	0	34	1
	%		8.7	15.2	0.0	73.9	2.2

【図表１４　直近１年間におけるコンサート鑑賞の場所（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	みていない	複数回答
合計	n	1,072	264	229	82	459	38
	%		24.6	21.4	7.6	42.8	3.5
好き	n	669	167	130	49	301	22
	%		25.0	19.4	7.3	45.0	3.3
どちらかといえば好き	n	259	67	54	22	109	7
	%		25.9	20.8	8.5	42.1	2.7
どちらかといえばきらい	n	98	24	29	8	30	7
	%		24.5	29.6	8.2	30.6	7.1
きらい	n	46	6	16	3	19	2
	%		13.0	34.8	6.5	41.3	4.3

３　小・中学生以外の市民（年代別）

⑴　運動やスポーツをする場面

【図表１５　運動やスポーツをする場面（年代別）】

		合計	クラブ・スクールで習い事として行う ①	①以外で家族や友達を誘って行う	①以外で家族や友達に誘われて行う	１人で行う	行わない	その他
合計	n	811	153	98	88	368	72	32
	%		18.9%	12.1%	10.9%	45.4%	8.9%	3.9%
～１９歳	n	13	7		2	3	1	
	%		53.8%	0.0%	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%
２０～２９歳	n	18	7		2	8	1	
	%		38.9%	0.0%	11.1%	44.4%	5.6%	0.0%
３０～３９歳	n	158	22	26	16	72	17	5
	%		13.9%	16.5%	10.1%	45.6%	10.8%	3.2%
４０～４９歳	n	366	57	40	46	177	37	9
	%		15.6%	10.9%	12.6%	48.4%	10.1%	2.5%
５０～５９歳	n	159	29	16	15	75	13	11
	%		18.2%	10.1%	9.4%	47.2%	8.2%	6.9%
６０～６９歳	n	61	19	6	5	26	2	3
	%		31.1%	9.8%	8.2%	42.6%	3.3%	4.9%
７０歳～	n	36	12	10	2	7	1	4
	%		33.3%	27.8%	5.6%	19.4%	2.8%	11.1%

⑵　運動やスポーツをする場所

【図表１６　運動やスポーツをする場所（年代別）】

		合計	屋外（公園、学校の校庭、市の屋外施設、民間の屋外施設）	屋内（学校の体育館、市の屋内の体育施設、民間の屋内施設）	自宅周辺	自宅の中	行わない	その他
合計	n	811	210	268	181	73	55	24
	%		25.9%	33.0%	22.3%	9.0%	6.8%	3.0%
～１９歳	n	13	6	5			2	
	%		46.2%	38.5%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%
２０～２９歳	n	18	4	10	2	1	1	
	%		22.2%	55.6%	11.1%	5.6%	5.6%	0.0%
３０～３９歳	n	158	43	43	35	18	14	5
	%		27.2%	27.2%	22.2%	11.4%	8.9%	3.2%
４０～４９歳	n	366	112	94	91	38	26	5
	%		30.6%	25.7%	24.9%	10.4%	7.1%	1.4%
５０～５９歳	n	159	30	65	34	10	10	10
	%		18.9%	40.9%	21.4%	6.3%	6.3%	6.3%
６０～６９歳	n	61	9	32	11	6	1	2
	%		14.8%	52.5%	18.0%	9.8%	1.6%	3.3%
７０歳～	n	36	6	19	8		1	2
	%		16.7%	52.8%	22.2%	0.0%	2.8%	5.6%

⑶　悪天候時に運動やスポーツをする場所

【図表１７　悪天候時に運動やスポーツをする場所（年代別）】

		合計	木陰や屋根のある場所が多い公園	市の運動ができる屋内施設	自宅	民間の運動ができる屋内施設	普段と同じ屋外の場所（公園や屋外施設）	天気が悪い日には、運動やスポーツをしない	行わない	その他	（空白）
合計	n	811	22	193	151	79	21	193	138	13	1
	%		2.7%	23.8%	18.6%	9.7%	2.6%	23.8%	17.0%	1.6%	0.1%
～１９歳	n	13		5	3	1		3	1		
	%		0.0%	38.5%	23.1%	7.7%	0.0%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%
２０～２９歳	n	18	2	3	3	2	1	2	4		1
	%		11.1%	16.7%	16.7%	11.1%	5.6%	11.1%	22.2%	0.0%	5.6%
３０～３９歳	n	158	4	27	31	23	3	44	25	1	
	%		2.5%	17.1%	19.6%	14.6%	1.9%	27.8%	15.8%	0.6%	0.0%
４０～４９歳	n	366	9	68	82	28	10	93	73	3	
	%		2.5%	18.6%	22.4%	7.7%	2.7%	25.4%	19.9%	0.8%	0.0%
５０～５９歳	n	159	3	52	23	13	4	35	24	5	
	%		1.9%	32.7%	14.5%	8.2%	2.5%	22.0%	15.1%	3.1%	0.0%
６０～６９歳	n	61	2	25	8	7	2	7	8	2	
	%		3.3%	41.0%	13.1%	11.5%	3.3%	11.5%	13.1%	3.3%	0.0%
７０歳～	n	36	2	13	1	5	1	9	3	2	
	%		5.6%	36.1%	2.8%	13.9%	2.8%	25.0%	8.3%	5.6%	0.0%

⑷　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た回数

【図表１８　直近１年間におけるスポーツ観戦の回数（年代別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	811	62	82	178	139	342	8
	%		7.6%	10.1%	21.9%	17.1%	42.2%	1.0%
～１９歳	n	13	1	1	4	3	4	
	%		7.7%	7.7%	30.8%	23.1%	30.8%	0.0%
２０～２９歳	n	18	3	3	4	2	6	
	%		16.7%	16.7%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%
３０～３９歳	n	158	14	14	23	36	70	1
	%		8.9%	8.9%	14.6%	22.8%	44.3%	0.6%
４０～４９歳	n	366	26	40	87	54	153	6
	%		7.1%	10.9%	23.8%	14.8%	41.8%	1.6%
５０～５９歳	n	159	16	17	32	28	66	
	%		10.1%	10.7%	20.1%	17.6%	41.5%	0.0%
６０～６９歳	n	61	2	6	17	9	27	
	%		3.3%	9.8%	27.9%	14.8%	44.3%	0.0%
７０歳～	n	36		1	11	7	16	1
	%		0.0%	2.8%	30.6%	19.4%	44.4%	2.8%

【図表１９　直近１年間におけるコンサート鑑賞の回数（年代別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	811	22	54	150	191	385	9
	%		2.7%	6.7%	18.5%	23.6%	47.5%	1.1%
～１９歳	n	13	1	1	1	1	8	1
	%		7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	61.5%	7.7%
２０～２９歳	n	18	4	2	5	2	5	
	%		22.2%	11.1%	27.8%	11.1%	27.8%	0.0%
３０～３９歳	n	158	3	7	31	45	71	1
	%		1.9%	4.4%	19.6%	28.5%	44.9%	0.6%
４０～４９歳	n	366	8	23	61	84	185	5
	%		2.2%	6.3%	16.7%	23.0%	50.5%	1.4%
５０～５９歳	n	159	4	16	32	37	68	2
	%		2.5%	10.1%	20.1%	23.3%	42.8%	1.3%
６０～６９歳	n	61	1	1	15	15	29	
	%		1.6%	1.6%	24.6%	24.6%	47.5%	0.0%
７０歳～	n	36	1	4	5	7	19	
	%		2.8%	11.1%	13.9%	19.4%	52.8%	0.0%

⑸　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た場所

【図表２０　直近１年間におけるスポーツ観戦の場所（年代別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	みていない	複数地点	（空白）
合計	n	811	93	333	38	317	28	2
	%		11.5%	41.1%	4.7%	39.1%	3.5%	0.2%
～１９歳	n	13	4	5		1	3	
	%		30.8%	38.5%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%
２０～２９歳	n	18	4	8		5		1
	%		22.2%	44.4%	0.0%	27.8%	0.0%	5.6%
３０～３９歳	n	158	11	63	14	65	5	
	%		7.0%	39.9%	8.9%	41.1%	3.2%	0.0%
４０～４９歳	n	366	42	143	16	148	16	1
	%		11.5%	39.1%	4.4%	40.4%	4.4%	0.3%
５０～５９歳	n	159	16	76	5	61	1	
	%		10.1%	47.8%	3.1%	38.4%	0.6%	0.0%
６０～６９歳	n	61	10	23	2	24	2	
	%		16.4%	37.7%	3.3%	39.3%	3.3%	0.0%
７０歳～	n	36	6	15	1	13	1	
	%		16.7%	41.7%	2.8%	36.1%	2.8%	0.0%

【図表２１　直近１年間におけるコンサート鑑賞の場所（年代別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	みていない	複数地点	（空白）
合計	n	811	73	321	53	348	13	3
	%		9.0%	39.6%	6.5%	42.9%	1.6%	0.4%
～１９歳	n	13	2	4		5	2	
	%		15.4%	30.8%	0.0%	38.5%	15.4%	0.0%
２０～２９歳	n	18	2	10	1	4		1
	%		11.1%	55.6%	5.6%	22.2%	0.0%	5.6%
３０～３９歳	n	158	13	66	12	64	3	
	%		8.2%	41.8%	7.6%	40.5%	1.9%	0.0%
４０～４９歳	n	366	35	135	19	172	5	
	%		9.6%	36.9%	5.2%	47.0%	1.4%	0.0%
５０～５９歳	n	159	8	75	12	62	2	
	%		5.0%	47.2%	7.5%	39.0%	1.3%	0.0%
６０～６９歳	n	61	9	19	5	27	1	
	%		14.8%	31.1%	8.2%	44.3%	1.6%	0.0%
７０歳～	n	36	4	12	4	14		2
	%		11.1%	33.3%	11.1%	38.9%	0.0%	5.6%

４　小・中学生以外の市民（運動やスポーツの好き嫌い）

⑴　運動やスポーツをする場面

【図表２２　運動やスポーツをする場面（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	クラブ・スクールで習い事として行う①	①以外で家族や友達に誘われて行う	①以外で家族や友達を誘って行う	１人で行う	行わない	その他
合計	n	811	153	88	98	368	72	32
	%		18.9%	10.9%	12.1%	45.4%	8.9%	3.9%
好き	n	353	88	38	63	138	8	18
	%		24.9%	10.8%	17.8%	39.1%	2.3%	5.1%
どちらかといえば好き	n	337	57	37	32	176	24	11
	%		16.9%	11.0%	9.5%	52.2%	7.1%	3.3%
どちらかといえば嫌い	n	97	8	12	3	47	24	3
	%		8.2%	12.4%	3.1%	48.5%	24.7%	3.1%
嫌い	n	24		1		7	16	
	%		0.0%	4.2%	0.0%	29.2%	66.7%	0.0%

⑵　運動やスポーツをする場所

【図表２３　運動やスポーツをする場所（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	屋外（公園、学校の校庭、市の屋外施設、民間の屋外施設）	屋内（学校の体育館、市の屋内の体育施設、民間の屋内施設）	自宅周辺	自宅の中	行わない	その他
合計	n	811	210	268	181	73	55	24
	%		25.9%	33.0%	22.3%	9.0%	6.8%	3.0%
好き	n	353	100	161	58	16	6	12
	%		28.3%	45.6%	16.4%	4.5%	1.7%	3.4%
どちらかといえば好き	n	337	85	93	99	37	14	9
	%		25.2%	27.6%	29.4%	11.0%	4.2%	2.7%
どちらかといえば嫌い	n	97	24	14	20	19	19	1
	%		24.7%	14.4%	20.6%	19.6%	19.6%	1.0%
嫌い	n	24	1		4	1	16	2
	%		4.2%	0.0%	16.7%	4.2%	66.7%	8.3%

⑶　悪天候時に運動やスポーツをする場所

【図表２４　悪天候時に運動やスポーツをする場所（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	木陰や屋根のある場所が多い公園	市の運動ができる屋内施設	民間の運動ができる屋内施設	自宅	普段と同じ屋外の場所（公園や屋外施設）	天気が悪い日には、運動やスポーツをしない	行わない	その他	（空白）
合計	n	811	22	193	79	151	21	193	138	13	1
	%		2.7%	23.8%	9.7%	18.6%	2.6%	23.8%	17.0%	1.6%	0.1%
好き	n	353	12	127	51	48	15	62	27	10	1
	%		3.4%	36.0%	14.4%	13.6%	4.2%	17.6%	7.6%	2.8%	0.3%
どちらかといえば好き	n	337	10	58	24	77	4	100	63	1	0
	%		3.0%	17.2%	7.1%	22.8%	1.2%	29.7%	18.7%	0.3%	0.0%
どちらかといえば嫌い	n	97		8	4	22	1	28	32	2	0
	%		0.0%	8.2%	4.1%	22.7%	1.0%	28.9%	33.0%	2.1%	0.0%
嫌い	n	24				4	1	3	16	0	0
	%		0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	4.2%	12.5%	66.7%	0.0%	0.0%

⑷　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た回数

【図表２５　直近１年間におけるスポーツ観戦の回数（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	811	62	82	178	139	342	8
	%		7.6%	10.1%	21.9%	17.1%	42.2%	1.0%
好き	n	353	43	48	95	54	110	3
	%		12.2%	13.6%	26.9%	15.3%	31.2%	0.8%
どちらかといえば好き	n	337	15	31	71	71	145	4
	%		4.5%	9.2%	21.1%	21.1%	43.0%	1.2%
どちらかといえば嫌い	n	97	3	3	11	13	66	1
	%		3.1%	3.1%	11.3%	13.4%	68.0%	1.0%
嫌い	n	24	1	0	1	1	21	0
	%		4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	87.5%	0.0%

【図表２６　直近１年間におけるコンサート鑑賞の回数（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	６回～	４～５回	２～３回	１回	０回	複数回答
合計	n	811	22	54	150	191	385	9
	%		2.7%	6.7%	18.5%	23.6%	47.5%	1.1%
好き	n	353	11	27	65	79	166	5
	%		3.1%	7.6%	18.4%	22.4%	47.0%	1.4%
どちらかといえば好き	n	337	7	17	60	88	162	3
	%		2.1%	5.0%	17.8%	26.1%	48.1%	0.9%
どちらかといえば嫌い	n	97	3	10	19	21	43	1
	%		3.1%	10.3%	19.6%	21.6%	44.3%	1.0%
嫌い	n	24	1	0	6	3	14	0
	%		4.2%	0.0%	25.0%	12.5%	58.3%	0.0%

⑸　直近１年間で、スポーツやコンサートを見た場所

【図表２７　直近１年間におけるスポーツ観戦の場所（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	複数地点	みていない	(空白)
合計	n	811	93	333	38	28	317	2
	%		11.5%	41.1%	4.7%	3.5%	39.1%	0.2%
好き	n	353	47	174	19	14	98	1
	%		13.3%	49.3%	5.4%	4.0%	27.8%	0.3%
どちらかといえば好き	n	337	34	138	18	12	134	1
	%		10.1%	40.9%	5.3%	3.6%	39.8%	0.3%
どちらかといえば嫌い	n	97	10	20	1	1	65	0
	%		10.3%	20.6%	1.0%	1.0%	67.0%	0.0%
嫌い	n	24	2	1	0	1	20	0
	%		8.3%	4.2%	0.0%	4.2%	83.3%	0.0%

【図表２８　直近１年間におけるコンサート鑑賞の場所（運動やスポーツの好き嫌い別）】

		合計	府中市内	府中市外の東京都内	東京都外	複数地点	みていない	(空白)
合計	n	811	73	321	53	13	348	3
	%		9.0%	39.6%	6.5%	1.6%	42.9%	0.4%
好き	n	353	34	137	27	5	147	3
	%		9.6%	38.8%	7.6%	1.4%	41.6%	0.8%
どちらかといえば好き	n	337	30	135	20	3	149	0
	%		8.9%	40.1%	5.9%	0.9%	44.2%	0.0%
どちらかといえば嫌い	n	97	9	40	5	5	38	0
	%		9.3%	41.2%	5.2%	5.2%	39.2%	0.0%
嫌い	n	24	0	9	1	0	14	0
	%		0.0%	37.5%	4.2%	0.0%	58.3%	0.0%

５　競技団体

⑴　各競技団体が主催、共催する最も規模が大きい大会やイベント

【図表２９　各競技団体が主催、共催する大会やイベント（最大規模のもの)】

団体名称	定期的に主催、共催している大会やイベントのうち、最も規模が大きいものの名称
陸上競技協会	府中多摩川マラソン大会
野球連盟	春季大会（リーグ戦・決勝トーナメント）、市民スポーツ大会
ソフトテニス連盟	市民スポーツ大会
柔道連盟	市民スポーツ大会、ジュニア柔道教室、ジュニア柔道強化練習
剣道連盟	市民スポーツ大会
卓球連盟	府中オープン
相撲連盟	市民スポーツ大会、八朔相撲祭（大國魂神社）
バレーボール連盟	連盟リーグ戦
弓道連盟	東京都多摩地区弓道大会、東京都市町村総合スポーツ大会
水泳連盟	市民スポーツ大会
バスケットボール連盟	市民スポーツ大会、春季リーグ戦
スキー連盟	市民スポーツ大会
サッカー連盟	フットサルリーグ及び大会
空手道連盟	市民スポーツ大会
ハンドボール連盟	市民スポーツ大会、府中ＣＵＰ小学生ハンドボール大会
バドミントン連盟	府中オープン混合ダブルス大会
ソフトボール連盟	連盟春季・秋季大会
庭球連盟	春季大会
乗馬連盟	市民スポーツ大会
なぎなた連盟	市民スポーツ大会
クレー射撃連盟	連盟選手権大会
ライフル射撃協会	大室杯射撃大会（単独主催）　市民スポーツ大会（府中市共催） 多摩地区大会（多摩地区の他のライフル射撃協会との共催）
テコンドー協会	東京都テコンドー選手権大会
居合道連盟	市民スポーツ大会、居合道伝達・審判講習会（団体主催事業）　ほか
ダンススポーツ連盟	府中市長杯争奪ダンススポーツ大会（JDSF 公認）
ゲートボール協会	市民スポーツ大会
ターゲットバードゴルフ協会	都民スポレクふれあい大会
ゴルフ連盟	市民オープンゴルフ競技大会
グラウンドゴルフ協会	グラウンドゴルフ親善大会、市民スポーツ大会等

⑵　大会やイベントに必要な広さ

【図表３０　大会やイベントに必要な広さ】

団体名	大会・イベントに必要なコートやスペースの広さ
陸上競技協会	ハーフマラソンの距離の半分(約１０．５km)とスタートゴール地点野球場４面と受付場所､選手更衣室等で総合体育館全面使用
野球連盟	野球競技ができる場所１面（１５０ｍ×１５０ｍ） 府中市民球場と郷土の森第二野球場４面
ソフトテニス連盟	テニスコート４面
柔道連盟	柔道場２試合場（５０畳×２）
剣道連盟	現在の総合体育館第１体育室程度
卓球連盟	卓球台５０台
相撲連盟	４．９坪≒１６．１７㎡の円形内で闘うスポーツ、１０ｍ×１０ｍ
バレーボール連盟	６・９人制バレーボールコート３面 ジュニアバレーボールコート３面
弓道連盟	弓道場全体として、約３２ｍ×５１ｍの広さ（近的競技） ※上記の広さは、選手１０人が同時に競技できる広さ ※上記のほか、選手控室が別に必要
水泳連盟	５０ｍプール（９レーン）
バスケットボール連盟	バスケットボールコート２面
スキー連盟	１０００ｍ×５０ｍ
サッカー連盟	フットサル２面（５０ｍ×６０ｍ）
空手道連盟	競技用コート４面 ※１面に必要な広さ：約１５ｍ×約１５ｍ
ハンドボール連盟	ハンドボールコート３面
バドミントン連盟	バドミントンコート（１０面＋６面）総合体育館　第１・第２体育室
ソフトボール連盟	６５ｍ×６５ｍ　２面
庭球連盟	庭球場の大きさ
乗馬連盟	馬が競技を行う馬場（４５ｍ×７５ｍ以上の馬場） 馬の収容施設及び馬の手入れ用施設（洗い場等、水の使用できる施設） 選手・審判・使役等の人が集まる施設
なぎなた連盟	試合場１面（１２ｍ×１２ｍ)、そのまわりに２ｍずつの余地
クレー射撃連盟	トラップ１面、スキート１面
ライフル射撃協会	エアーライフル射撃場（射撃距離１０ｍ　８射座程度)、貸し出し用ビームライフル備品、５０ｍ射撃場、　　３００ｍ射撃場
テコンドー協会	９ｍ×９ｍ　４コート
居合道連盟	総合体育館第２武道場（４９５㎡）以上

ダンススポーツ連盟	４２ｍ×３６ｍ（２面競技会ができるスペース、１面が５００㎡で本部席と選手整列、待機スペース５００㎡）
ゲートボール協会	ゲートボールコート４面　４５ｍ×３５ｍ
ターゲットバードゴルフ協会	１１０ｍ×９０ｍ
ゴルフ連盟	各ゴルフ場による
グラウンドゴルフ協会	郷土の森サッカー場人工芝、天然芝両面

資料２　府中市新総合体育館基本構想検討協議会規則

令和６年１１月２８日
教育委員会規則第５号

（趣旨）

第１条　この規則は、府中市附属機関の設置等に関する条例（平成２７年３月府中市条例第１号）第２条第２項の規定に基づき、府中市新総合体育館基本構想検討協議会（以下「協議会」という。）を設置し、その組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（所掌事務）

第２条　協議会は、府中市教育委員会の諮問に応じて、次に掲げる事項について調査審議するものとする。

⑴　新総合体育館基本構想の案に関する事項

⑵　前号に掲げるもののほか、府中市教育委員会が必要と認める事項

（組織）

第３条　協議会は、次に掲げる者のうちから、府中市教育委員会が委嘱する委員１２人以内をもって組織する。

⑴　学識経験を有する者　４人以内

⑵　特定非営利活動法人府中市体育協会の推薦する者　１人

⑶　府中市スポーツ推進委員会の推薦する者　１人

⑷　地域体育館運営協議会の構成員　１人

⑸　府中市自治会連合会の構成員　１人

⑹　公益社団法人東京都障害者スポーツ協会の構成員　１人

⑺　市内のトップチーム関係者　１人

⑻　公募による市民　２人以内

（委員の任期）

第４条　委員に任期は、前条の規定による委嘱のあった日から令和７年９月３０日までとする。

（会長及び副会長）

第５条　協議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれらを定める。

２　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

３　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（協議会の会議）

第６条　協議会の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

２　協議会は、過半数の委員の出席がなければ会議を開くことができない。

３　協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（委員以外の者の出席）

第７条　会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を協議会の会議に出席させて意見を聴き、又は説明を求めることができる。

（雑則）

第８条　この規則に定めるもののほか協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

付　則

（施行期日）

１　この規則は、公布の日から施行する。

（この規則の失効）

２　この規則は、第４条に規定する委員の任期が満了する日限り、その効力を失う。

資料３　府中市新総合体育館基本構想検討協議会委員名簿

（選出区分ごと、五十音順、敬称略）

No.	選出区分	氏名
1	学識経験者（特定非営利活動法人リデザインマネジメント研究所）	池澤　龍三
2	学識経験者（早稲田大学）	木村　和彦
3	学識経験者（山梨学院大学）	小山　さなえ
4	学識経験者（東洋大学）	難波　悠
5	特定非営利活動法人府中市体育協会	市川　敦子
6	府中市スポーツ推進委員会	元山　薫
7	地域体育館運営協議会	島中　雅人
8	府中市自治会連合会	椋田　實
9	公益社団法人東京都障害者スポーツ協会	佐々木　ゆみ
１０	市内のトップチーム関係者	栗盛　謙
１１	公募市民	仲野　裕子
１２	公募市民	中野渡　雄三
会長	木村　和彦	
副会長	小山　さなえ	

資料４　府中市新総合体育館基本構想検討協議会審議経過

年度	回	開催日程	主な審議内容
令和６年度	第１回	２月３日（月）	正副会長選出 諮問 事業概要について 市民ニーズ調査について
	第２回	３月２１日（金）	類似事例・類似施設調査からの示唆について 既存施設における機能集約化の評価指標について 視察先について
令和７年度	第３回	５月２６日（月）	市民ニーズ調査結果と分析について 導入機能の方向性について 新総合体育館に求められる役割について
	－	６月２０日（金）	エスフォルタアリーナ八王子の視察
	第４回	７月２５日（金）	基本理念（案）・基本方針（案）について 諸室構成（案）・諸室規模（案）について
	第５回	８月２９日（金）	基本構想素案の検討
	第６回	９月１６日（火）	答申の審議